

■地域文化研究専攻教員の活動（2017年1月～12月）

- *所属教員名の五十音順に、各人の研究活動を下記の項目にしたがって記載した。
- *該当業績のない項目は省略している。
- *前年記載漏れの業績なども含む。

A. 著書, B. 分担執筆, C. レフェリー付き学術論文, D. 一般学術論文, E. 翻訳, F. その他の業績,
G. 国際学会での活動, H. 国内学会での活動, I. その他の研究活動, J. 受賞

相澤 隆 (AIZAWA Takashi)

足立信彦 (ADACHI Nobuhiko)

D. 一般学術論文

- 足立信彦. 理想の女——性・所有・共同体 IV——. 『ODYSSEUS』. 第 21 号. pp. 35–56 東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻. 2017.3.

網野徹哉 (AMINO Tetsuya)

A. 著書

- 網野徹哉. 『インディオ社会史——アンデス植民地時代を生きた人々』. p. 400. みすず書房. 2017.

B. 分担執筆

- Amino, T. Un milagro de la Virgen y la libertad de los indios en Lima: aspectos históricos de la reducción urbana en el caso del Cercado y el barrio de San Lázaro. Saito, A., Rosas Laura, C. (eds.). *Reducciones: La concentración forzada de las poblaciones indígenas en el Virreinato del Perú*. p. 678. pp. 147–189. PUCP. 2017.

有田 伸 (ARITA Shin)

B. 分担執筆

- 有田 伸. 新卒一括採用制度の日本的特徴とその帰結——大卒者の「入職の遅れ」は何をもたらすか?. 石田浩 (編). 『格差の連鎖と若者 1 教育とキャリア』. p. 286. pp. 113–139. 勁草書房. 2017.
- 有田 伸. 社会学から考える非正規雇用の低賃金とその変容. 玄田有史 (編) 『人手不足なのになぜ賃金が上がらないのか』. p. 310. pp. 251–266. 慶應義塾大学出版会. 2017.

C. レフェリー付き学術論文

- 有田 伸. 韓国社会の高齢化とその帰結——年齢別労働力率を通じて考える. 『現代韓国朝鮮研究』. 17. pp. 1–16. 現代韓国朝鮮学会. 2017.

D. 一般学術論文

- Shin ARITA. A Comparative Analysis of Social Stratification in Japan, Korea and Taiwan: Where is the Locus of Social Inequality?. *ISS Discussion Paper Series F-182*. p. 19. 2017.
- 아리타 신 (有田伸). 패널 조사와 국제비교 조사를 통해 본 일본사회의 불평등: 한국과의 비교를 중심으로 (パネル調査と国際比較調査を通じてみた日本社会の不平等: 韓国との比較を中心に). *ISS Discussion Paper Series F-183*. p. 17. 2017.
- 有田伸. ひとびとの考える「危機」とは何か? —社研パネル調査自由記述回答の分析. 『危機対応学ディスカッションペーパー』No. 2. p. 16. 2017.
- 石田浩・三輪哲・小川和孝・有田伸. 「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査(JLPS) 2016」の分析結果にみる若年・壮年者の離家経験, 長時間労働と家族形成, 子ども保険への加入, 危機への意識(後編). 『中央調査報』. 720. pp. 6301-6309. 2017.

F. その他の業績

- 有田伸. 書評. 福井康貴(著)『歴史のなかの大卒労働市場——就職・採用の経済社会学』. 『社会学評論』. 67.4. pp. 498-499. 2017.
- 有田伸. エッセイ. 考えたくないことを, 誰がどう考えるか? —「ネガティブ・ケイパビリティ」と危機対応学. 危機対応学ホームページ (<http://web.iss.u-tokyo.ac.jp/crisis/essay/>). 2017.

G. 国際学会

- The 23rd Annual Conference of the Taiwan Association for Sociology of Education. Taiwan Association for Sociology of Education, National Taitung University. 2017.5.4-6. 招待発表. Toward the Indigenization of Social Stratification Research in East Asia: Following the Work of the Late Professor Yih-Jyh Huang. 英語.
- 제 5 회 한국불평등연구심포지움 (第 5 回韓国不平等研究シンポジウム). 延世大学校 (ソウル). 한국불평등연구회 (韓国不平等研究会). 2017.7.7-8. 招待発表. Rewards Inequalities Generated by Educational Credentialism: An International Comparison Using PIAAC Data (with Hirofumi TAKI). 英語.
- The 10th International Convention of Asia Scholars. International Convention of Asia Scholars. Chiang Mai International Exhibition and Convention Center. 2017.7.20-23. 一般発表. Income Inequality in an Aging Society: The Case of Japan. 英語.
- DFG Symposium on “The Impact of the Humanities and Social Sciences: Discussing Germany and Japan”. Deutsche Forschungsgemeinschaft. 東京ドイツ文化センター. 2017.11.14-15. 招待発表. Sociological Explanation of Reward Inequality in the Japanese Labor Market: Focusing on the Distinction between Standard and Nonstandard Employment. 英語.

H. 国内学会

- 第 90 回日本社会学会大会. 日本社会学会. 東京大学. 2017.11.4-5. 一般発表. 職歴データにもとづく稼得歴の推定と高齢者の社会経済的地位——2015 年 SSM 調査分析結果 (5).

- 東京労働経済学研究会月例研究会, 東京労働経済学研究会, 東京大学, 2017.12.1, 招待発表, 正規/非正規雇用間格差の社会的説明の試み——就業者のカテゴリー区分に着目して,

I. その他の活字にならない研究活動

- 危機対応学ワークショップ, 危機対応研究センター (東京大学社会科学研究所・釜石市), 釜石市青葉ビル, 2017.11.25, 仮設住宅への入居者をどう決めるべきか? ——危機時の配分に関する人々の意識, 発表・組織,

アルヴィ宮本なほ子 (AIVEY MIYAMOTO Nahoko)

B. 分担執筆

- アルヴィ宮本なほ子, マクレーが未来に託す言葉——「フランダーズの野に」を読み継ぐ試み, 東京大学教養学部 (編) 『知のフィールドガイド: 分断された時代を生きる』, p. 200, pp. 110–22, 白水社, 2017.7.
- アルヴィ宮本なほ子, 「大胆な仕掛け」——教室のフェリシア・ヘマンズ, 原田範行, 阿部公彦, 津田正 (編) 『教室の英文学』, p. 334, pp. 168–77, 研究社, 2017.5.

C. レフリー付き学術論文

- アルヴィ宮本なほ子, 漱石の淡黄の花——『草枕』とイギリス・ロマン主義, 『比較文学研究』, 第 103 号, pp. 7–38, 東大比較文学會, 2017.9.

D. 一般学術論文

- アルヴィ宮本なほ子, 「風に聞け」——ナイルの海戦とイギリス・ロマン派詩人, 『ODYSSEUS』, 第 21 号, pp. 57–78, 東京大学総合文化研究科地域文化研究専攻, 2017.3.

G. 国際学会

- Seminar Series, School of English, Film, Theatre, and Media Studies, Department of English, Victoria University of Wellington (New Zealand) . 2017.6.8. Invited Lecture. Between ‘Bird-track’ Eastern Writing and ‘Sidewise Crab-walk Western Writing’: Tradition and Modernity in Natume Sōseki. 英語,

池上俊一 (IKEGAMI Shunichi)

A. 著書

- 池上俊一, 『王様でたどるイギリス史』, p. 272, 岩波書店, 2017.

B. 分担執筆

- 池上俊一, 食から見るイタリア史, 赤江雄一 (編) 『生命の教養学 12 食べる』, p. 312, pp. 125–143, 慶應義塾大学出版会, 2017.

E. 翻訳

- 池上俊一, 監修, 解説および4作品の翻訳, 『原典 ルネサンス自然学』 (上・下), p. 650, p. 656, 名古屋大学出版会, 2017.

F. その他の業績

- 池上俊一. コラム. 料理と信用. 『図書』. 816. p. 1. 岩波書店. 2017.
- 池上俊一. コラム. イタリアの食文化——野菜が支えるイタリア料理. 高橋進, 村上義和 (編) 『イタリアの歴史を知るための 50 章』. p. 384. pp. 122–124. 明石書店. 2017.

I. その他の活字にならない研究活動

- International Symposium 〈Medieval Papacy: Governance, Communication, Cultural Exchange〉. 立教大学 (東京). 2017.2.17–2.19. 司会. 英語.

池亀 彩 (IKEGAME Aya)

井坂理穂 (ISAKA Riho)

B. 分担執筆

- 井坂理穂. 何を食べるか, 食べないか——M・K・ガンディーの模索. 東京大学教養学部 (編) 『知のフィールドガイド 分断された時代を生きる』. p. 270. pp. 149–162. 白水社. 2017.

F. その他の業績

- 井坂理穂. インドの植民地化 (2016 年 5 月 2 日). インドの脱植民地化 (2016 年 5 月 9 日). 『EALAI テーマ講義 アジアにおける「植民地化」と「脱植民地化」転換と変容のプロセス報告集』. p. 74. pp. 13–26. 東京大学 東アジア・リベラルアーツ・イニシアティブ (EALAI). 2017.

G. 国際学会

- AAS-in-ASIA 2017. Korea University (Seoul). 2017.6.25. 一般発表. Redefining a community and its culinary practices in colonial and postcolonial India: Parsi writings on food. 英語.
- International Workshop: Contours of Culinary Transformations in South Asia. 大阪大学中之島センター (大阪). 2017.9.26. 一般発表, 司会, 企画, 発表. Dietary practices and identity: The Bene Israel community in colonial and postcolonial India. 英語.

H. 国内学会

- 日本南アジア学会第 30 回全国大会. 東洋大学白山キャンパス (東京). 2017.9.24. 一般発表. Stories of food and search for self: Esther David and the Bene Israel community in postcolonial India. 英語.

石井 剛 (ISHII Tsuyoshi)

A. 著書

- 石井剛 (編). APF Series 4: 『大乘起信論』と主体性: 近代東アジア哲学の形成そして論争. UTCP-Uehiro Booklet 14. p. 204. UTCP. 2017.

B. 分担執筆

- Tsuyoshi Ishii. “Zhang Taiyan and the Revolutionary Politics of Literary Restoration”. David Der-wei

Wang ed. *A New Literary History of Modern China*. p. 1001. pp. 202–207. Cambridge: The Belknap Press of Harvard University Press. 2017.

- 石井剛, 「愛すべき」論理と「信ずべき」倫理はどこに?——中国が哲学に出会ったとき. 東京大学教養学部編『知のフィールドガイド 分断された時代を生きる』. p. 270. pp. 177–189. 白水社. 2017.
- 石井剛, 李沢厚美学和中国文化積淀的儒学之“体”: 関於重新闡积儒学的探索. 安楽哲, 賈晋華(編)《李沢厚与儒学哲学》. p. 369. pp. 312–332. 上海人民出版社. 2017.

C. レフェリー付き学術論文

- 石井剛, 文学復古与“科学”革命: 戴震の西学対章太炎国故文体的影響. 《現代哲学》第 152 期. pp. 116–123. 2017.

F. その他の業績

- 石井剛, 書評. 濱田麻矢・薛化元・梅家玲・唐顯芸編著『漂泊の叙事 1940年代東アジアにおける分裂と接触』(勉誠出版, 2015年). 『中国文学報』第 88 冊. pp. 116–128. 2016.
- 石井剛, 書評. 百年を跨いで照らしあう二つの「世紀末的輝き」. 王徳威『抑圧されたモダニティ 清末小説新論』(神谷まり子, 上原かおり訳, 東方書店, 2017年). 『東方』第 442 号. pp. 30–34. 2017.
- 石井剛, もう一つの「酒楼」にて——代田智明先生を送る——. 『ODYSSEUS』. 21. pp. 155–157. 2017.

G. 国際学会

- Annual Conference of the Association for Asian Studies 2017. The Association for Asian Studies. Sheraton Centre Toronto Hotel (Toronto). 2017年3月16–19日. 一般発表. Creating “Scientific” Discourse with Classical Writing: Zhang Taiyan’s Literary Restoration and Alternative Modernity. 英語.
- 国際学術工作坊“東西文明的交錯与中国哲学: 圍繞《The Path》与普鳴教授対話”. 科研費基盤研究(B)「グローバル化する中国の現代思想と伝統に関する研究」. 東京大学駒場キャンパス(東京). 2017年10月15日. 一般発表. 礼的革命/革命的礼——通向中国現代思想史的別様視角. 中国語.
- International Symposium “Confucian Modernity as Japanese Experience in East Asian Context”. World Consortium for Research in Confucian Cultures. 京都大学(京都). 2017年11月3–4日. 一般発表. Kanzo Uchimura and His Project of Christian Modernization Challenging Confucian Moral —Under the Yoke of the Meiji Nation—. 英語.
- 清華大学—東京大学 戦略的パートナーシップ 文系シンポジウム. 東京大学大学院総合文化研究科. 東京大学駒場キャンパス(東京). 2017年12月1日. 一般発表. Philosophizing the Concept “Wen (文)”: Beginning from Takeda Taijun’s *Shiba Sen*. 英語.

H. 国内学会

- ワークショップ「Contested Concepts in Modern Japanese Philosophy 近代日本哲学とせめぎあう概

念」, 京都大学 SPIRITS, 東京大学東洋文化研究所(東京), 2017年3月25日, 一般発表, 文明の抗争と平和の構想,

石田勇治 (ISHIDA Yuji)

B. 分担執筆

- 石田勇治, 長谷部恭男(共著), 『ナチスの「手口」と緊急事態条項』, 集英社新書, p.253, 集英社, 2017,

D. 一般学術論文

- 石田勇治, ヒトラーと現代ドイツ, 『憲法問題』, 28, pp.111-122, 全国憲法研究会(編), 2017,
- 石田勇治, なぜ民主的憲法を持っていたドイツにヒトラー独裁政権が誕生したのか——抜け穴は緊急事態条項, 『平和運動』, 558, pp.18-26, 日本平和委員会, 2017,

F. その他の業績

- 石田勇治, 新聞記事, 五輪の政治利用——国威発揚の空気, 歴史の教訓どこへ, 東京新聞, 2017.5.26,
- 石田勇治, 新聞記事, 独裁『前夜』の危うさ——ナチスに学ぶ緊急事態条項, 神奈川新聞, 2017.8.31,
- 石田勇治, 新聞記事, 憲法に緊急事態条項が盛り込まれたら, 日刊ゲンダイ, 2017.9.15
- 石田勇治, 新聞記事, 論点憲法70年 必要か緊急事態条項 ヒトラーの危険な「手口」, 毎日新聞, 2017.9.22,
- 石田勇治, 雑誌記事, ナチスの手口と安倍政治の危険性, 週刊金曜日, 1154, pp.38-39, 2017-9-29,
- 石田勇治, 雑誌記事, 連載1 ヒトラー政権の成立, Imagine. 55, アウシュヴィッツ平和博物館ニュースレター, 2017.7.7, 4-5,
- 石田勇治, 雑誌記事, 連載2 ナチ時代のドイツ(1), Imagine. 56, アウシュヴィッツ平和博物館ニュースレター, 2017.10.10, 6-7,

G. 国際学会

- 東アジア DAAD 会議, 東京大学, 2017.10.21, 一般発表, „Vergangenheitsbewältigung“ im Vergleich. Faktoren, die Japan und die Bundesrepublik Deutschland unterscheiden. ドイツ語,

I. その他の活字にならない研究活動

- 石田勇治, 講演, ナチ時代のドイツ——現代のドイツ, 2017年国際ホロコースト・デー講演会, 認定NPO法人アウシュヴィッツ平和博物館(福島県白河市), 2017.1.29,
- 石田勇治, 講演, 国家緊急権はどのように使われるか——歴史と現実, 東京弁護士会・第一東京弁護士会・第二東京弁護士会主催シンポジウム, 弁護士会館講堂, 2017.3.15,
- 石田勇治, 講演, ナチ・ドイツとは何か, 早稲田大学エクステンション, 2017.4.8 /4.15 /6.17,
- 石田勇治, 講演, ドイツ近現代史——ヒトラーからメルケルへ, 中日文化センター, 2017.4,

22/5.13/5.27/6.10.

- 石田勇治. 講演. 戦争と平和. 新宿区戸山図書館講演会. 戸山生涯学習館. 2017.7.29.
- 石田勇治. 講演. ヒトラー独裁政権の成立を問う. 平和を願う中央区民の戦争展. 月島社会教育会館. 2017.8.13.
- 石田勇治. 講演. ナチ独裁と緊急事態条項. 朝日カルチャーセンター新宿教室. 2017.10.29.
- 石田勇治. 講演. ヒトラーとは何者だったのか. 早稲田大学エクステンション. 2017.11.18/12.2/12.9.
- 石田勇治. 講演. ヒトラーと現代ドイツ. 中日文化センター. 2017.11.18/12.2/12.9.
- 石田勇治. 講演. 過去の克服と未来への責任. 院内集会. 衆議院第一議院会館. 2017.11.27.
- 石田勇治. 対談. 『ナチスの「手口」と緊急事態条項』刊行記念トークイベント. 紀伊國屋書店新宿本店. 2017.8.24.
- 石田勇治. 対談. 「独裁」とは何か. 『ナチスの「手口」と緊急事態条項』刊行記念トークイベント. 東京大学駒場生協. 2017.11.15.
- 石田勇治. 対談. ヘルムート・オルトナー氏来日記念集会. 日比谷図書文化館. 2017.12.16.
- 石田勇治. 出演. 改めて知るナチスの手口 ヒトラーは実際. 何を目指し. 何を行ったのか? TBS ラジオ Session 21. 2017.9.7.

石橋 純 (ISHIBASHI Jun)

B. 分担執筆

- 石橋純. 「南米ベネズエラの音楽と文化」. 東京大学教養学部 (編). 『分断された時代を生きる (知のフィールドガイド)』. pp. 81-92. 白水社. 2017 年.

F. その他の業績

- 石橋純. 事典項目. 「ベネズエラ・ボリバル共和国」. 中牧弘允編. 『世界の暦文化辞典』. 丸善出版. 2017 年.

I. その他の活字にならない研究活動

- 招待講演. 「ホローポって. こんな音楽」. 兵庫県立芸術文化センター主催・「世界音楽図鑑」. 共鳴する音楽とダンス 伝統音楽〈ホローポ〉を発信するコロンビアの国民的バンド《シマロン》. 兵庫県立芸術文化センター中ホール. 2017.7.2.
- 招待講演. 「熱狂ホローポ ～南米コロンビア平原の歌・音楽・ダンス～」. 浜松市楽器博物館. 浜松市楽器博物館・天空ホール. 2017.7.6.
- コンサート企画. 「全学体験ゼミナール・ラテンアメリカ音楽演奏入門 成果発表コンサート」. 東京大学駒場キャンパス 18 号館ホール. 2016.8.5.
- 招待講演. 「ラテンリズムのフロンティア・ベネズエラの音楽と文化」. 上智大学外国語学部. 上智大学 10 号館講堂. 2017.9.2.
- 映画祭企画運営. 「第一回 AJEL 映画祭」. 日本ラテンアメリカ学会 2017 年度研究大会. 東京大

学駒場キャンパス, 2017.6.2.

- 映画祭企画運営, 「ラテンシネクラブ第一回上映会 & トーク」, 東京大学駒場キャンパス, 2017.11.23.

遠藤泰生 (ENDO Yasuo)

B. 分担執筆

- 遠藤泰生, 「アメリカ近代史研究における公共性あるいは公共圏への関心と日本におけるその希薄」, 遠藤泰生編, 『近代アメリカの公共圏と市民』, p. 353, p. 1-33, 東京大学出版会, 2017.
- 遠藤泰生, 「あとがき」, 遠藤泰生編, 『近代アメリカの公共圏と市民』, p. 353, pp. 343-349, 東京大学出版会, 2017.

E. 翻訳

- 遠藤泰生 (訳), デイヴィッド・D・ホール (著), 「公共圏以前——近世イングランドおよび北米ニューイングランド植民地における異議申し立てと討議」, 遠藤泰生編, 『近代アメリカの公共圏と市民』, p. 353, pp. 221-248, 東京大学出版会, 2017.

F. その他の業績

- 遠藤泰生, 追悼エッセイ, 「〈佐伯彰一文庫〉と『日米関係のなかの文学』のこと」, 『比較文学研究』, **103**, 東大比較文学会, pp. 148-152.
- センタープロジェクト紹介, 『CPAS Newsletter』, **17.2**, p. 8, 東京大学アメリカ太平洋地域研究センター, 2017.
- 遠藤泰生, エッセイ, 「2017年1月21日“ウィメンズ・マーチ”——ヒラリーの敗北を乗り越えられるか」『CPAS Newsletter』, **18.1**, pp. 1-4, 東京大学アメリカ太平洋地域研究センター, 2017.
- センタープロジェクト紹介, 『CPAS Newsletter』, **18.1**, pp. 8-9, 東京大学アメリカ太平洋地域研究センター, 2017

G. 国際学会

- 東京大学アメリカ太平洋地域研究センター公開シンポジウム 2017, アメリカ太平洋地域研究センター, 東京大学総合文化研究科 (東京), 2017.11.12. Looking at the Present from the Past: The Transformation of Political Culture in the United States. 日本語, コメント.
- “Transportation and Time Zones”. Pacific Gateways: International Symposium on English Literature and the Pacific Ocean, 1760-1914. Department of English. University of Tokyo. Ito International Conference Center. 2017.11.24. 英語, 司会.

H. 国内学会

- 我孫子シルクロードサークル, 「南北戦争の歴史と記憶——銅像は引き倒されるべきか」, 我孫子市民プラザホール (我孫子), 2017.12.16. 講演.

岡田泰平 (OKADA Taihei)

B. 分担執筆

- 岡田泰平. 戦争／平和と生存——アジア太平洋戦争を中心に——. 歴史学研究会 (編) 『第4次現代歴史学の成果と課題 第1巻』. p. 303. pp. 287–303. 續文堂. 2017.
- 岡田泰平. 占領地日本のセックス・ワーカーについて——語りと曖昧さをめぐる考察——. 日比野啓, 下河辺美知子 (編) 『アメリカン・レイバー: 合衆国における労働の文化表象』. p. 321. pp. 65–89. 彩流社. 2017.

D. 一般学術論文

- 岡田泰平. 「記憶の政治」研究を振りかえる——ピエール・ノラ編『記憶の場』日本語版の受容を中心に——. 『歴史評論』. 808号 (特集 越境する戦争の記憶). pp. 5–22. 歴史科学協議会. 2017.8.
- 岡田泰平. 植民地大学について——研究史からの試論——. 『史潮』. 81号 (特集 植民地帝国と「大学」). pp. 78–89. 歴史学会. 2017.6.

E. 翻訳

- 岡田泰平. 翻訳. カール・イアン チェン・チュア. 想起を介した忘却——日比におけるアジア太平洋戦争の碑と観光——. 『歴史評論』. 808号 (特集 越境する戦争の記憶). pp. 38–49. 歴史科学協議会. 2017.8.

F. その他の業績

- Taihei OKADA. 書評. Rick Baldoz. *The Third Asiatic Invasion: Empire and Migration in Filipino America, 1898–1946. Philippine Studies: Historical and Ethnographic Viewpoints*. 65 巻 3 号. pp. 387–390. The Ateneo de Manila University. 2017.9.
- 岡田泰平. 新刊本紹介. 石出法太・石出みどり (著) 『これならわかるアメリカの歴史 Q & A』. 『歴史評論』. 807号. p. 104. 歴史科学協議会. 2017. 7.
- 岡田泰平. 新刊本紹介. 水羽信男 (編著) 『アジアから考える』. 『歴史評論』. 810号. pp. 108–109. 歴史科学協議会. 2017. 10.

G. 国際学会

- SEASIA 2017. Consortium for Southeast Asian Studies in Asia (アジアにおける東南アジア研究コンソーシアム). タイ・バンコク, チュラロンコン大学. 2017年12月16–17日. 一般発表. Sexual Violence in Cebu Towns and Its Place in Historical Memory. 英語.

I. その他の研究活動

- 静岡県近代史研究会 (1月, 2月, 3月, 4月, 5月, 6月, 11月の例会の担当・司会).
- 歴史科学協議会, 編集委員, 書評等執筆の推薦など, 2017年8月号の特集取りまとめ.

小川浩之 (OGAWA Hiroyuki)

B. 分担執筆

- 小川浩之. マクミラン政権の国際秩序観と「英米特殊関係」再強化の試み. 葛谷彩, 小川浩之, 西村邦行 (編), 『歴史のなかの国際秩序観——「アメリカの社会科学」を超えて』, p. 249, pp. 77-96. 晃洋書房, 2017.

F. その他の業績

- 小川浩之. 書評. 後藤春美. 『国際主義との格闘——日本, 国際連盟, イギリス帝国』, 中央公論新社, 2016. 『教養学部報』, 595. p. 4. 2017.

H. 国内学会

- 国際関係史学会 (CHIR-Japan) 研究会例会. 国際関係史学会 (CHIR-Japan). 桜美林大学四谷キャンパス, 2017.11.25. 一般発表. イギリス外交史のなかのプレグジット.
- 第25回公開シンポジウム「地域から見える世界」. 東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻. 東京大学駒場キャンパス 18号館ホール, 2017.6.24. 一般発表. プレグジットから見るイギリス外交の変容.

I. その他の研究活動

- イギリス現代史と地域紛争. NHK 文化センター青山教室. 2017.10.6, 2017.11.10, 2017.12.1.
- 「周辺」から見るイギリス現代史. NHK 文化センター青山教室. 2017.4.24, 2017.5.22, 2017.6.26.
- 世界政治研究会例会. 世界政治研究会. 東京大学本郷キャンパス, 2017.2.10. 池田亮報告「スエズ危機の再検討」. コメンテーター.
- 冷戦研究会第33回例会. 冷戦研究会. 東京大学駒場キャンパス, 2017.1.7. 合評会 宮下雄一郎 『フランス再興と国際秩序の構想——第二次世界大戦期の政治と外交』 (勁草書房, 2016年). コメンテーター.

キハラハント愛 (KIHARA-HUNT Ai)

A. 著書

- Kihara-Hunt, A. *Holding UNPOL to Account: Individual Criminal Accountability of United Nations Police Personnel*. p. 436. Brill. 2017.

C. レフリー付き学術論文

- キハラハント愛. 国連システム学術評議会 (ACUNS) 2016年度年次研究大会に参加して. 『国連研究』, 第18号. pp. 269-280. 日本国際連合学会, 2017.

F. その他の業績

- キハラハント愛. 討論記録. <http://www.gpaj.org/2017/11/14/15928>. 日本国際平和構築協会 ウェブサイト. 日本国際平和構築協会, 2017.
- キハラハント愛. 討論記録. Professor Ai Kihara-Hunt: “Militarization of the UN Police is undermining its very strength of proximity with the community”. 日本国際平和構築協会 ウェブサイト. 日本国際平和構築協会, 2017.
- キハラハント愛. 討論記録. Nature and level of DPRK military threat to Japan explained and debated

at GPAJ seminar, 日本国際平和構築協会 ウェブサイト, 日本国際平和構築協会, 2017.

- キハラハント愛, 討論記録, International Conference on Women, Peace and Security in the 21st Century aimed at providing an East Asian perspective, 日本国際平和構築協会 ウェブサイト, 日本国際平和構築協会, 2017.
- キハラハント愛, 討論記録, Japan's assistance for African peace and security reviewed by African expert and Japanese scholars and practitioners, 日本国際平和構築協会 ウェブサイト, 日本国際平和構築協会, 2017.
- キハラハント愛, 討論記録, Human Security Seminar "The United Nations in Peacebuilding: Is it Falling Short?", 日本国際平和構築協会 ウェブサイト, 日本国際平和構築協会, 2017.
- キハラハント愛, 討論記録, Protection and Promotion of Human Rights in Humanitarian Crises taken up by Experts at ACUNS Seoul Meeting, 日本国際平和構築協会 ウェブサイト, 日本国際平和構築協会, 2017.
- キハラハント愛, 討論記録, Rwanda's Achievements and Challenges explained by Ambassador, 日本国際平和構築協会 ウェブサイト, 日本国際平和構築協会, 2017.
- キハラハント愛, 討論記録, First meeting of the ACUNS Tokyo Forum held at UN University, 日本国際平和構築協会 ウェブサイト, 日本国際平和構築協会, 2017.

G. 国際学会

- 国連システム東アジアセミナー, 国連学会, 北九州国際会議センター, 2017.11.10-12, 一般発表, 国連警察のコミュニティ・ポリシングの能力開発における東アジアの地域的協力について, 英語.
- 人間の安全保障学会年次会, 人間の安全保障学会, 京都立命館大学, 2017.11.4-5, 一般発表, 国連平和活動における文民の保護のマンデートと国連警察の軍隊化との関係, 英語.
- 「女性・平和・安全保障」国際専門家会議, 「国際平和維持」ジャーナル・エベルト財団共催, 韓国ソウル, 2017.9.22-23, 招待講演, 国際法から見る性的暴力, 国連警察の刑事的アカウントビリティ (2本), 英語.
- 国連システム学術評議会年次総会, 国連システム学術評議会, 韓国ソウル, 2017.6.15-17, 招待講演, 国連警察の刑事的アカウントビリティについて, 英語.

H. 国内学会

- 日中韓学生フォーラム, 国連協会, 東京代々木オリンピックセンター, 2017.8.4, 招待講演, 国連システムの変遷, 英語.
- 東京大学大学院「人間の安全保障」プログラムセミナー, 東京大学大学院「人間の安全保障」プログラム, 東京大学駒場キャンパス, 2017.4.26, 一般発表, 国連警察の刑事的アカウントビリティの研究と国内警察改革現場から浮かび上がる, 国連の抱える問題.
- 日本国際平和構築協会セミナー, 日本国際平和構築協会, 日本国際協力機構 (JICA), 2017.3.25, 招待講演, 国連警察の文民の保護における役割.

I. その他の研究活動

- 日本国際平和構築協会・国連システム学術評議会シンポジウム, 日本国際平和構築協会・国連システム学術評議会共催, 東京大学駒場キャンパス, 2017.12.2, 総合司会・企画運営委員長.
- 日本国際平和構築協会研究大会, 日本国際平和構築協会, 東京大学駒場キャンパス, 2017.12.2, モデレーター・企画運営委員長.
- 東京大学大学院「人間の安全保障」プログラムセミナー「ルワンダ: 和解と平和構築はどこまで進んだか」, 東京大学大学院「人間の安全保障」プログラム・日本国際平和構築協会, 東京大学駒場キャンパス, 2017.11.14, 総合司会・企画運営委員長.
- 国連大学グローバル・セミナー第33回湘南セッション, 国連大学・かながわ国際交流財団共催, 湘南国際村, 2017.8.29-9.1, 司会・企画運営委員, 英語.
- アフリカ平和構築専門家会議, 国連システム学術評議会・日本国際平和構築協会共催, 東京国連大学, 2017.8.25, 総合司会・企画運営委員, 英語.
- 東京大学大学院「人間の安全保障」プログラムセミナー「国連は平和構築に失敗しているのか」, 東京大学大学院「人間の安全保障」プログラム, 東京大学駒場キャンパス, 2017.6.20, 総合司会・企画運営委員長, 英語.
- 国連システム学術評議会東京連絡事務所第一回会議, 国連システム学術評議会, 東京国連大学, 2017.6.19, 総合司会・企画運営委員長, 英語.
- 東京大学大学院「人間の安全保障」プログラムセミナー「ルワンダ: 発展の軌跡」, 東京大学大学院「人間の安全保障」プログラム・日本国際平和構築協会共催, 東京大学駒場キャンパス, 2017.5.31, 総合司会・企画運営委員長.

木宮正史 (KIMIYA Tadashi)

B. 分担執筆

- 기미야다다시. 제 11 장 한국 민주화와 국제정치 (第 11 章 韓国の民主化と国際政治), 康元澤 (編), 『6.29 선언과 한국 민주주의 민주화 30년, 한국 민주주의의 진전과 노태우 정부 시기의 재조명 (6・29 宣言と韓国民主義: 民主化 30 年, 韓国民主義の進展と盧泰愚政府時期の再照明)』, p. 416, pp. 313-358, 푸른길 (プルンギル), 2017.
- 木宮正史, 第 3 章 南北分断体制下の独裁と民主化の挫折, 第 4 章 開発独裁による南北体制競争への対応, 第 5 章 民主化と脱冷戦への対応, 参考文献第 3 章第 4 章第 5 章解説, など, 李成市・宮嶋博史・糟谷憲一 (編) 『世界歴史大系 朝鮮史 2 近現代』, p. 381, pp. 145-272, 付録 pp. 59-66, 山川出版社, 2017.
- KIMIYA, Tadashi. Discussion. The Society for East Sea, (ed.). *Seas and Islands: Connecting People, Culture, History and the Future, Proceedings of the 22nd International Seminar on Sea Names*. p. 221. pp. 189-192. The Society for East Sea. 2017.
- 木宮正史, 第 2 章 冷戦と経済協力, 第 3 章 冷戦変容と日韓の緊密化, など, 李鍾元・木宮

正史・磯崎典世・浅羽祐樹(著)『戦後日韓関係史』, p. 303. pp. 71-138. 有斐閣, 2017.

- 기미야다다시. 한국수교 51 년의 고지에서 본 한일관계 : 한일관계 50 년의 재검토와 한일안보협력의 가능성 (韓日修交 51 年の高地から見た韓日関係 : 韓日関係 50 年の再検討と韓日安保協力の可能性). ソウル大学日本研究所(編). 『국립외교원 일본연구센터 정책용역과제 새로운 한일관계 비전 연구 최종보고서 (国立外交院日本研究センター政策用役課題 新たな韓日関係ビジョン研究 最終報告書)』, p. 396. pp. 85-98. 2016.

D. 一般学術論文

- 기미야다다시. 동북아안보와 한반도 통일 그리고 일본: 북핵위기를 기회로 동북아 평화 구축으로 나가는 길 (北東アジア安保と朝鮮半島の統一そして日本: 北朝鮮核危機を機会とした北東アジア平和構築に向かって). 『The 13th DMZ Peace Prize & DMZ World Peace Symposium』, pp. 83-93. 韓国江原道, 韓国江原日報, 2017.
- 木宮正史. 韓国文在寅政権と朝鮮半島をめぐる国際政治. 『政策オピニオン』, 66. pp. 1-10. 平和政策研究所, 2017.
- 木宮正史. 文在寅政権が抱える安全保障と統一のジレンマ. 『外交』, 44. pp. 52-57. 都市出版, 2017.
- 木宮正史. 東アジアにおけるパワーシフトと知識人の役割. 『SGARA レポート 第 51 回 SGARA フォーラム 今, 再び平和について: 平和のための東アジア知識人の連帯を考える』 78. pp. 18-30. 関口グローバル研究会, 2017.

E. 翻訳

- 木宮正史, 若杉美奈子, 小池修(訳). 金鍾泌(著)『金鍾泌証言録』, p. 838. (監訳). 新潮社, 2017.

F. その他の業績

新聞記事

- 木宮正史. 日韓政府間慰安婦合意の検証に関する談話. 共同通信配信. 『下野新聞』『西日本新聞』『岩手日報』『信濃毎日新聞』『神戸新聞』『中国新聞』『宮崎日日新聞』『神奈川新聞』, 2017.12.29.
- 木宮正史. 日韓政府間慰安婦合意の検証に関する談話. 『毎日経済新聞』2017.12.29.
- 木宮正史. 韓国外相の 12 月下旬来日に関するインタビュー. 『朝日新聞』2017.12.2.
- 木宮正史. インタビュー文政権政治報復の嵐「やり返す」支持者期待. 『讀賣新聞』2017.11.15.
- 木宮正史. 北東アジア安保と朝鮮半島の統一, そして日本. 韓国『江原日報』2017.10.31.-11.1.
- 木宮正史. 日本の衆議院選挙に関する電話インタビューコメント. 『韓国聯合ニュース』2017.10.22.
- 木宮正史. 北朝鮮の 6 回目核実験に関する電話インタビューコメント. 『毎日経済新聞』, 2017.9.5.
- 木宮正史. 北朝鮮の 6 回目核実験に関する電話インタビューコメント. 『韓国聯合ニュース』

2017.9.3.

- 木宮正史. 北朝鮮のICBM発射に関する電話インタビューコメント. 『韓国聯合ニュース』2017.7.4.
 - 木宮正史. 文在寅政権下の日韓関係に望む: 政権の体力をつけ両国関係再構築へ. 『東洋経済日報』2017.6.16.
 - 木宮正史. インタビュー談話 読賣新聞・韓国日報日韓共同世論調査の結果に関して. 『読賣新聞』2017.6.13.
 - 木宮正史. 電話インタビュー 文在寅政権と日韓関係に関して. 『東亜日報』電子版. 2017.5.11.
 - 木宮正史. 書面インタビュー 文在寅新政権と日韓関係に関して. 『中央日報』電子版. 2017.5.10.
 - 木宮正史. インタビュー談話 韓国大統領選挙. 『日本経済新聞』. 2017.5.11.
 - 木宮正史. 電話インタビュー 韓国大統領選挙. 『聯合ニュース』. 2017.5.10.
 - 木宮正史. インタビュー談話 韓国大統領選挙. 『毎日新聞』. 2017.5.10.
 - 木宮正史. インタビュー談話 韓国大統領選挙. 『朝日新聞』. 2017.5.10.
 - 木宮正史. 電話インタビュー海外専門家が見たトランプ100日. 『韓国日報』. 2017.5.2.
 - 木宮正史. 朝鮮半島における4月危機説に関する電話インタビュー. 『聯合ニュース』. 2017.4.10.
 - 木宮正史. 安倍内閣支持率の下落に関する電話インタビュー談話. 『中央日報』. 2017.3.21.
 - 木宮正史. 朴槿恵大統領弾劾認容に関するインタビュー. 『産経新聞』. 2017.3.11.
 - 木宮正史. 朴槿恵大統領弾劾認容に関するインタビュー. 『読賣新聞』. 2017.3.11.
 - 木宮正史. 朴槿恵大統領弾劾認容に関するインタビュー. 『毎日新聞』. 2017.3.11.
 - 木宮正史. 朴槿恵大統領弾劾認容に関する電話インタビュー. 『聯合ニュース』. 2017.3.10.
 - 木宮正史. 金正男殺害事件に関する電話インタビュー. 『聯合ニュース』. 2017.2.14-15.
 - 木宮正史. 日韓関係の現状に関する電話インタビュー. 『聯合ニュース』. 2017.2.4.
 - 木宮正史. インタビュー大使帰国一ヵ月日韓の今後は. 『東京新聞』. 2017.2.6. 夕刊
 - 木宮正史. トランプ政権の対東アジア政策をめぐる電話インタビュー. 『聯合ニュース』. 2017.1.19.
 - 木宮正史. 釜山領事館前の少女像設置への日本政府の対抗措置に関する談話. 『韓国日報』. 2017.1.10.
 - 木宮正史. 釜山領事館前の少女像設置への日本政府の対抗措置に関する談話. 『毎日新聞』. 2017.1.7.
- 雑誌エッセイ
- 木宮正史. 問題の背後にあるのはNPT体制の矛盾. 『世界』901. pp. 98-99. 2017.11.
 - 木宮正史. 韓国大統領選挙と朝鮮半島情勢. 『教養学部報』595. 2017.10.2.
 - 木宮正史. 文大統領は「反米・反日・親北」か. 『週刊金曜日』1136. pp. 36-37. 2017.5.19.
- ウェブサイトエッセイ

- 木宮正史. 米中の「二兎」を追うなら, 文在寅は日韓関係を改善するほかない. 『産経 iRONA』 2017.12.22.
- 기미야다다시. 한국 대선에 관한 일본 보도에 대한 위화감 (韓国大統領選挙に関する日本の報道に対する違和感). 韓国社会科学院 社会科学院フォーラム (<http://www.iss88.kr/>), 2017.5.22.

G. 国際学会

- 日韓専門家懇談会: 文在寅政府の韓半島政策と「新北方政策」. 東京大学韓国学研究中心, 帝国ホテル舞の間, 2017.12.2. 主催者, 韓国語.
- 東アジア国際情勢と韓日関係: 成熟した未来志向的韓日関係に向けて. 韓国国立外交院日本研究センター, 韓国外交史料館講堂(ソウル), 2017.11.28. 招待講演. 直面する北朝鮮核危機に臨む韓国と日本: 韓国外交における日本, 日本外交における韓国. 韓国語.
- The 3rd Interim Meeting: Transnational Joint Research On the History of Asia in the 20th Century. 日本国際問題研究所, 日本国際問題研究所大会議室(東京), 2017.11.17-18. 招待. 韓国国家の形成と変容: 脱植民地化・「企業家的国家」による競争・ポスト競争下の「先進国化」. 日英同時通訳.
- 日韓市民 100 人未来対話. 韓国国際交流財団・東京大学韓国学研究中心・ソウル大学日本学研究中心, 韓国済州島フェニックスアイランド, 2017.11.9-11. 招待. 日韓同時通訳. 主催責任者.
- 2017 年 DMZ 平和国際シンポジウム 『北東アジアの戦争と平和』, DMZ 学術院・江原道・江原日報, 韓国麟蹄 speedium hotel (麟蹄), 2017.10.31. 招待講演. 北東アジア安保と朝鮮半島統一, そして日本: 北朝鮮核危機を機会に北東アジアの平和構築を. 韓国語.
- 金大中・小渕宣言 19 周年記念 韓日パートナーシップ宣言と未来志向的な日韓関係の構築. 韓日未来フォーラム・延世大学金大中図書館・民主研究院, 韓国延世大学金大中図書館大会議室(ソウル), 2017.9.21. 招待講演. 日韓関係の「失われた 19 年」を振り返って: 日韓パートナーシップ宣言とその後. 日本語, 韓国語.
- AKS Core University Program for Korean Studies Directors' Meeting. UNIVERSTAT TUBINGEN, The Academy of Korean Studies. UNIVERSTAT TUBINGEN. 2017.8.8-11. 招待講演. Advantages and Difficulties of Korean Studies in Japan, the University of Tokyo, and the Contents of Our Projects to overcome these Difficulties. 韓国語・英語.
- 第 22 次 日韓有識者間政策対話. 世宗研究所日本研究センター・韓国外交部・日本国外務省, ホテルザ・プリンス箱根芦ノ湖(神奈川県箱根町), 2017.7.14. 招待. 日韓同時通訳. 日本側責任者.
- 大韓民国外交史: 内と外の視線 韓国現代外交史研究 日本ワークショップ. 東北アジア歴史財団・東アジア研究院, 旧軽井沢ホテル(軽井沢市), 2017.6.30. 招待. 韓国語.
- 629 民主化宣言 30 周年記念学術大会 629 民主化宣言と韓国民民主義. 韓国政党学会・大韓民国歴史博物館, 韓国プレスセンター国際会議室, 2017.6.28. 招待講演. 民主化と国際政治: 韓

国の民主化過程を事例として、韓国語。

- The 2nd Interium Meeting: Transnational Joint Research On the History of Asia in the 20th Century. 日本国際問題研究所, 東京プリンスホテル(港区), 2017.5.27-28, 招待, 韓国国家の形成と変容: 脱植民地化・「企業家的国家」による競争・ポスト競争下の「先進国化」, 日英同時通訳。
- 韓日新時代共同研究ワークショップ, 韓国東北アジア歴史財団, 韓国外交部, ハイアットリージェンシー済州(韓国済州島), 2017.4.28-30, 招待, 日韓同時通訳。
- 第21次 日韓有識者間政策対話, 世宗研究所日本研究センター, 韓国外交部, 日本国外務省, 韓国原州 Oakvalley Village, 2017.3.21, 招待, 日韓同時通訳, 日本側責任者。

H. 国内学会

- 米朝核危機と日本, 東京大学韓国学研究所, 早稲田大学韓国研究センター, 東京大学駒場キャンパス 18号館ホール, 2017.11.4, 一般, 主催者・司会・パネリスト。
- 日本アカデミア勉強会, 日本アカデミア, ホテルオークラ別館2階メイプル(東京都港区), 2017.8.24, 招待, 韓国文在寅政権の登場と朝鮮半島をめぐる国際政治の展開。
- 有識者マスコミ懇談会, 平和政策研究所, アルカディア市ヶ谷(東京都千代田区), 2017.7.12, 招待講演, 韓国文在寅政権と朝鮮半島をめぐる国際政治。
- アジア政経学会 2017年研究大会 共通論題「2017: 不確実性の時代のアジアと世界」, アジア政経学会, 一橋大学(東京都国立市), 2017.6.24, 一般, 米中国益第一主義の狭間の朝鮮半島: 韓国政治の不確実性と北朝鮮政治の硬直性。
- 第39回政策セミナー「2017年・世界とアジア, 激動の年: 北東アジア情勢分析」, 北東アジア研究交流ネットワーク, 大阪経済法科大学東京麻布台セミナーハウス 2F 大研修室(東京都港区), 2017.6.3, 招待講演, 韓国文在寅政権の展望をめぐって。
- 文在寅政権の韓国を展望する, 現代韓国朝鮮学会, 慶應義塾大学現代韓国研究センター, 慶應義塾大学南校舎 455号(東京都港区), 2017.5.27, 招待講演, 文在寅政権の展望: 政治外交を中心に。
- 安全保障研究会月例研究会, 内閣府官房安全保障研究会, 霞山会館(東京都千代田区), 2017.5.22, 招待講演, 韓国大統領選挙とトランプ政権下の朝鮮半島情勢。

I. その他の活字にならない研究活動

- 日本平和学会 2017年度秋季研究集会, 日本平和学会, 香川大学幸町キャンパス(高松), 2017.11.25-26, 討論(韓国平和学会との交流セッション)。
- 現代韓国朝鮮学会 2017年度研究大会, 現代韓国朝鮮学会, 大東文化大学(東京都板橋区), 2017.10.22, 司会・討論者。
- アジア政経学会 2017年度研究大会, アジア政経学会, 富山大学, 2017.10.21, 討論者。
- 朝鮮半島冷戦史研究会: 冷戦史研究の新展開 1970年代を中心に, 東京大学韓国学研究所, 東京大学駒場キャンパス 18号館コラボ1(東京都目黒区), 2017.7.30, 主催者・司会・討論者。

放送出演

- 康京和韓国外相の訪日に関する出演. BS 日テレ 深層 NEWS, 2017.12.19.
- 朝鮮半島をめぐる情勢に関する出演. BS ジャパン 日経プラス 10, 2017.10.5.
- プライムニュース元駐韓国大使“警告”～文在寅クライシスと今後の日韓関係に関する出演. BS フジ, 2017.6.29.
- 視点・論点 韓国大統領選挙と今後の行方. NHK 総合, 2017.5.11.
- ミヤネ屋 韓国大統領選挙に関する解説. 日本テレビ (よみうりテレビ), 2017.5.9-10.
- NHK ジャーナル 韓国大統領選挙に関する解説. NHK ラジオ, 2017.5.9.
- プライムニュース朴槿恵大統領逮捕に関する解説. BS フジ, 2017.3.31.
- 週刊報道ライフ 朴槿恵大統領の罷免に関する解説. BS TBS, 2017.3.12.
- 日曜討論 北朝鮮金正男殺害事件と北朝鮮の核ミサイル問題. NHK 総合, 2017.2.26.
- スッキリ 釜山領事館前少女像設置をめぐる日韓関係に関する電話インタビュー. 日本テレビ, 2017.1.10.

講演

- 平昌 2018 冬季オリンピックに向けて通訳ボランティア育成プログラム. 神田外語大学, 神田外語大学 (千葉市), 2017.9.11. 招待講演. 韓国の政治経済から見た日韓関係.
- 東京大学オープンキャンパス模擬授業. 東京大学教養学部, 東京大学本郷キャンパス工学部 8 号館 (東京都文京区), 2017.8.2. 朝鮮半島はなぜ分断されたのか.
- ソウル大学・東京大学サマージョイントセミナー 東京大学, 東京大学駒場キャンパス (東京都目黒区), 2017.8.1. The Structure of Korea-Japan Relations: Their Evolution and Present Situation, 英語.
- 新風訊会. 新風訊会. 毎日新聞社ビル 9 階レストラン・アラスカ, 2017.5.16. 招待講演. 韓国新大統領の課題: これからの韓国, そして日韓, 南北関係は.
- 朝鮮半島の歴史と現状に関する講座. 朝日カルチャーセンター新宿教室. 朝日カルチャーセンター新宿教室 (東京都新宿区), 2016.4-2017.3. 全 20 回.
- 暦日会 CD 暦日会. 韓国政治の現状と今後の日韓関係, 2017.3.24.

金 志英 (KIM Ji-young)

C. レフリー付き学術論文

Ji Young Kim & Jeyong Sohn. International Pressure, Domestic Backlash, and the Comfort Women Issue in Japan. *Pacific Affairs*. Vol. 90, No. 1, pp. 77-99. The University British Columbia Press, 2017.

G. 国際学会

- Symposium on History and Reconciliation: An International Comparative Study, Organized by Japan Institute of International Affairs, Tokyo, Japan, 2017. 10.12. Presentation. “What Promotes and Prevents Reconciliation?” 英語.

- International Studies Association (ISA) International Conference. The University of Hong Kong, Hong Kong. 2017. Discussant. “A Paradox of Asian-Pacific Rising?: Dynamics and Dilemma of East Asian Security Environment in the Pacific Century.” 英語.

金 伯柱 (KIM, Baekju)

斎藤文子 (SAITO Ayako)

E. 翻訳

- 斎藤文子 (訳). ミゲル・デ・セルバンテス (著). ジプシー娘, 血の力, 麗しき皿洗い娘. 『模範小説集』. p. 726. pp. 19–108, pp. 313–334, pp. 387–455. 水声社. 2017.

F. その他の業績

- 斎藤文子. エッセイ. 上田博人先生を送る. 『教養学部報』. **590**. p. 6. 2017.2.1.
- 斎藤文子. 項目執筆. セルバンテス. 小森陽一他 (編). 『漱石辞典』. p. 829. p. 715. 翰林書房. 2017.

I. その他の研究活動

- 日本ラテンアメリカ学会第38回定期大会. 東京大学駒場キャンパス. 2017.6.4. 吉田栄人報告「マヤ人女性作家ソル・ケー・モオ作品の文学的位置づけ」. コメンテーター.

佐藤安信 (SATO Yasunobu)

B. 分担執筆

- Yasunobu Sato. 2017, “Japan’s Approach to Global Democracy Support: Focused on Law and Judicial Reform Assistance,” Michael R. Austin, *et al* (eds.), *U.S.-Japan Approaches to Democracy Promotion*, Sasakawa Peace Foundation USA, 37–44.

G. 国際学会

- 6th Asia Pro Bono Conference for Access to Justice. マレーシアクアラルンプール. 2017.9.30. Pro Bono Asylum, Refugees and Statelessness (分科会). 企画運営・報告. Pro Bono Asylum, Refugees and Statelessness. 英語.
- 35th Symposium on Economic Crime. イギリス・ケンブリッジ大学. 2017.9.4. 一般発表. Network Governance for Human Security: New Paradigm of Rule of Law. 英語.
- Asian Society of International Law. 韓国ソウル. 2017.8.25. パネル発表. Cross-border collaboration for refugee protection, solution and prevention by multi-stakeholder informal network: Asian Network on Refugees and International Protection (ANRIP) — New Paradigm for Solution of Refugee Crisis. 英語.
- International Legal Assistance Consortium 東京大会. JICA 研究所. 2017.5.13. パネル発表. Judiciary and development in conflict-torn countries.

H. 国内学会

- 科研基盤 A ネットワークガバナンス研究会，東京大学，2017.12.15，7.6，5.10，主催。

I. その他の活字にならない研究活動

- 「人間の安全保障」プログラム (HSP) ・グローバル地域研究機構持続的平和研究センター長としての研究活動 (科学研究費補助金基盤 A の東アジアにおける正義のためのアクセスのためのネットワークガバナンスの検証)
- 難民出身地国情報のデータベース構築
- アジアの難民国際保護ネットワーク (ANRIP) の会議，ワークショップ運営 (10.3 にクアラルンプール，UNHCR マレーシア事務所と共催)
- ビジネスと難民に関する ANRIP セミナー，東京大学駒場，9.22.
- 国際仲裁法に関するセミナー，ハノイ・日越大学，8.4.
- 日弁連業務改革シンポジウム，東京大学本郷，講演，ビジネスと人権，9.9.
- 日弁連セミナー・国際舞台で活躍するための法律家キャリアセミナー，日弁連，講演，9.2.
- 東アジア共同体評議会の日中研究協力の少子高齢化にかかる調査研究の委員として東京，上海での会議で報告，報告書作成。
- 社会保険労務士連合会の労働 CSR の研究委員として研究会に参加し，報告書で一章執筆。

杉田英明 (SUGITA Hideaki)

D. 一般学術論文

- 杉田英明，大正日本の『ルバイヤート』，『ODYSSEUS』，21，pp. 1-37，東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻，2017.

F. その他の業績

- 杉田英明，[回答] 本をめぐる記憶のプロムナード——54名への読書アンケート，20世紀文学研究会編，『読書空間，または記憶の舞台』，pp. 245-47，風濤社，2017.
- 杉田英明，[講演] 駱駝と日本人，東京大学中東地域研究センター主催，広島市安東公民館，2017.10.28，森元誠二氏と。

杉山清彦 (SUGIYAMA Kiyohiko)

D. 一般学術論文

- 杉山清彦，マンジュ (満洲) 王朝としての大清帝国の国制とその歴史的位罫——八旗制を中心に——，『専修大学法学研究所所報』55，pp. 22-59，2017.

F. その他の業績

- 杉山清彦，(シンポジウム記録) 「岡田史学とは何か」，(エッセイ) 「歴史を見る眼と歴史から見る眼」，(シンポジウム記録) 「〈完結記念シンポジウム〉今，なぜ岡田史学か？」，(月報) 「師事」なお遠くとも——私淑から親炙」，岡田英弘 (編) 『モンゴルから世界史を問い直す』，p. 371.

pp. 93–143, pp. 145–192, pp. 199–205, pp. 351–354. 2017.

- 杉山清彦, 学会コメント, 報告へのコメント(1), 『朝鮮史研究会会報』**207**, p. 12, pp. 5–6. 2017.
- 杉山清彦, 概説, 大清帝国はなぜ滅んだか, 『文藝春秋 Special 学校では学べない世界近現代史入門』, p. 246, pp. 97–103. 2017.

G. 国際学会

- 国際満学学術研討会, 吉林師範大学, 中国・長春市: 吉林師範大学, 2017.6.28, 招待講演, 明清初時期的佟佳氏族衍及其活動, 中国語.
- 国際満学研習營, 吉林師範大学, 中国・四平市: 吉林師範大学, 2017.7.3, 招待講演, M・C・エリオット報告に対するコメント.
- 第2回「跨越想像的の境界: 族群・礼法・社会」国際学術会議, 台湾師範大学, 台湾・台北市: 台湾師範大学, 2017.12.1, 招待講演, 在清代八旗中旗人的“滿洲化”与“土人化”.
- 国立台湾師範大学歴史学系專題演講, 台湾師範大学, 台湾・台北市: 台湾師範大学, 2017.12.5, 招待講演, 在清代八旗中旗人的“滿洲化”与“土人化”.

H. 国内学会

- 専修大学法学研究所ワークショップ, 専修大学法学研究所, 専修大学, 2017.7.18, 招待講演, マンジュ(満洲)王朝としての大清帝国の国制とその歴史的的位置——八旗制を中心に——.
- ICU アジア文化研究所・JFE21世紀財団共催シンポジウム「歴史の智慧をどう活かすか?——21世紀の日本がアジアと共生をめざすための歴史研究——」, ICU アジア文化研究所・JFE21世紀財団, 国際基督教大学, 2017.12.9, 招待講演, 大清帝国の多民族統治と八旗制——広域支配の制度と構造——.

I. その他の研究活動

- 平成29年度長野市民教養講座「歴史の表と裏——王道と霸道」, 長野市民講座運営委員会, 長野市, 2017.11.17, 講演, 王道の名, 霸道の実——表と裏で見る中国史.

菅 豊 (SUGA Yutaka)

B. 分担執筆

- 菅豊, 幻影化する無形文化遺産, 飯田卓(編)『文化遺産と生きる』, p. 398, pp. 68–96, 昭和堂, 2016.

C. レフリー付き学術論文

- 菅豊, 公益與共益——從日本的“社会性”伝統再構成看国家與民衆, 『民俗研究』, **2016.6**, pp. 49–54, 山東大学, 2017.
- Suga, Y. Into the Bullring: The Significance of ‘Empathy’ after the Earthquake. *Fabula*. **58 (1–2)**, pp. 25–38. International Society for Folk Narrative Research. 2017.
- 菅豊, 民俗学者の田野介入與社会現実の再建構——通過田野調査構築現実, 『民俗研究』, **2017.3**, pp. 49–56, 山東大学, 2017.

- 菅豊，張帥，邢光大．公共民俗学與新在野之学及日本民俗学者的中国研究．『民俗研究』，2017.3. pp. 38-48. 山東大学，2017.
- 菅豊．『超越“20世紀民俗学”：我們從與福田亜細男の討論中學習甚麼？』序言．『民間文化論壇』，2017.4. pp. 25-26. 中国文学芸術界聯合会，2017.
- 福田亜細男，菅豊．為民俗学的衰頹而悲哀的福田亜細男．『民間文化論壇』，2017.4. pp. 27-36. 中国文学芸術界聯合会，2017.
- 福田亜細男，菅豊，塚原伸治．民俗学的定義的問題．『民間文化論壇』，2017.5. pp. 27-36. 中国文学芸術界聯合会，2017.

G. 国際学会

- 北京学講堂：亜州文化共同体與首都比較．北京聯合大学北京学研究基地，One Asia Foundation，北京聯合大学（北京市），2017.4.6. 招待講演，東亜文化共同体中的非物質文化遺產相關問題．
- 2017 亜太無形文化資産論壇——前瞻教育與当代实践——．台湾文化部文化資産局，台中文化創意産業園區衡道堂（台中市），2017.5.11. 招待講演，無形文化資産保存維護與公共民俗学——「共学」立場與方法之必要性——．
- 第二屆“農耕文化遺產與現代社会”學術檢討会．南京農業大学，南京市文学芸術界聯合会，中国民間文化傳承模範基地（南京市），2017.9.23. 招待講演，農耕文化遺產與現代民俗学——以全球重要農業遺產的申請活動為例．
- 非物質文化遺產保護倫理問題国際檢討会．中国民俗学会，中山大学非物質文化遺產研究中心・中文系，中山大学（広州市），2017.12.10. 招待講演，拒絶 UNESCO ICH？——普遍性価値和地域性価値の相互矛盾．

H. 国内学会

- 日本民俗学会第 69 回年会．日本民俗学会，佛教大学（京都），2017.10.15. 一般発表，パブリック・ヒストリーと歴史実践——反復される多様な歴史活用とその現代的展開——．

鈴木啓二 (SUZUKI Keiji)

F. その他の業績

- 鈴木啓二．冷静と情熱の人，石井洋二郎さんを送る．『ODYSSEUS』，21. pp. 131-133. 東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻，2017.

G. 国際学会

- «Baudelaire 150 ans après». 東京大学文学部フランス文学研究室，東京大学本郷キャンパス，2017.5.28. 一般発表，«Du “raisonnement de la fureur” au «point de vue providentiel»: Baudelaire et le coup d’Etat du 2 décembre 1851». フランス語．

H. 国内学会

- 日本フランス語フランス文学会 2017 年度春季大会ワークショップ «Entretien avec Antoine Volodine». 東京大学駒場 I キャンパス，2017.6.4. 招待作家への質疑応答．フランス語．

- 第 25 回地域文化研究専攻主催公開シンポジウム「地域から見える世界」, 東京大学総合文化研究科地域文化研究専攻, 東京大学駒場 I キャンパス, 2017.6.24, 一般発表, 「自己の内なる外国人——他者との共生の一モデル」。

高橋英海 (TAKAHASHI Hidemi)

B. 分担執筆

- Takahashi, H. Armenian Garshuni (Armenian in Syriac Script) and Its Users. Teule, H., Keser-Kayaalp, E., Akalin, K., Doru, N., Toprak, M.S. (eds.). *Syriac in Its Multi-Cultural Context: First International Syriac Studies Symposium, Mardin Artuklu University, Institute of Living Languages, 20–22 April 2012, Mardin* (Eastern Christian Studies 23). p. 408. pp. 243–264. Louvain: Peeters. 2017.
- 高橋英海, 大谷探検隊将来資料中のシリア語断片, 入澤崇・橘堂晃一(編)『大谷探検隊収集西域胡語文獻論叢: 仏教・マニ教・景教』(龍谷大学西域研究叢書 6), p. 211. pp. 181–211. 龍谷大学仏教研究所 西域研究会・龍谷大学世界仏教文化研究センター, 2017.

C. レフリー付き学術論文

- Takahashi, H., Yaguchi, N. On the Medical Works of Barhebraeus: With a Description of the Abridgement of Hunain's *Medical Questions*. *Aramaic Studies*. **15**. pp. 252–276. Brill. 2017.

F. その他の業績

- 高橋英海, シリア正教会について, 学問の伝承におけるシリア語の役割, 東方キリスト教の諸言語——マイナー言語を中心に, シリア・カトリック教会について, マロン教会の歴史から, アッシリア東方教会について, カルデア・カトリック教会について, インドの聖トマス・キリスト教徒, 基礎データ: エチオピア・カトリック教会, エリトリア正教会, エリトリア・カトリック教会, シリア正教会, シリア・カトリック教会, アッシリア東方教会, カルデア・カトリック教会, アルメニア・カトリック教会, 三代川寛子(編)『東方キリスト教諸教会——研究案内と基礎データ』, p. 605. pp. 190–201, 212–221, 222–226, 260–265, 271–286, 322–332, 334–341, 418–427, 558–556, 553–552, 550. 明石書店, 2017.

G. 国際学会

- International Jingjiao Symposium: The Practice of Faith for a Jingjiao Follower in China (基督宗教研究論壇(二零一七), 景教研究国際論壇: 景教徒在華生活与信仰实践), 中国社会科学院基督教研究中心/清華大学宗教与道德研究院, 中央社会主義学院(北京), 2017.11.17–20, 招待講演, What the Recent Finds Tell Us about the Practice of Faith among the Syriac-Rite Christians in China. 英語.
- 国際漢学系列講座第九十二講, 北京大学国際漢学家研修基地, 2017.10.13, 招待講演, Syriac Christianity in Tang and Yuan China: Remarks on Some Recent Discoveries. 英語.
- International Conference “Georgia-Byzantium-Christian East”. Korneli Kekelidze Georgian National Center of Manuscripts, National Library of Georgian Parliament, Tbilisi. 2017.9.25–27, 一般発表, Syriac Christianity East of the Pamirs: On Some New Finds and Their Significance for the Understanding of

Eurasian Christianity. 英語.

- International Medieval Congress 2017. University of Leeds. 2017.7.3–6. 一般発表. The Attitude of Bar-hebraeus towards Islam and Islamic Scholars. パネルディスカッション. Christianity in the Islamic World: Achievements of Research. 運営委員. 英語.

H. 国内学会

- 講演会「シリア・イラク情勢と移民のいま」. 東京大学中東地域研究センター. 富山県富山市タワー 111. 2017.9.20. 一般発表. シリア・イラクのキリスト教徒の移動の歴史.
- 第78回羽田記念館定例講演会. 京都大学大学院文学研究科附属ユーラシア文化研究センター(羽田記念館). 2017.7.1. 招待講演. 中国とその周辺におけるシリア語とシリア・キリスト教——最近の発見を中心に.
- 講座. 「地中海: 神話・伝承を紡ぐ」. NHK文化センター(地中海学会企画協力). 2017.6.19. 招待講演. 地中海から東シナ海まで——聖ゲオルギオス伝の伝承と変容.

高橋 均 (TAKAHASHI Hitoshi)

F. その他の業績

- 高橋 均. 歴史学研究会編『世界史年表』第3版. 岩波書店. 2017.10. 南北アメリカ欄, 中南米関係の増補項目を分担執筆.

竹村文彦 (TAKEMURA Fumihiko)

E. 翻訳

- 竹村文彦訳. 「ルベン・ダリーオ詩選(小特集ルベン・ダリーオ没後100年(3))」. 『れにくさ』. 第7号. pp. 136–141. 東京大学大学院人文社会系研究科・文学部・現代文芸論研究室. 2017.

F. その他の業績

- 竹村文彦. 書評: ホセ・デ・カダルソ著『モロッコ人の手紙 / 鬱夜』(富田広樹訳. 現代企画室). 『図書新聞』. 第3314号. p. 4. 2017.

田中 創 (TANAKA Hajime)

B. 分担執筆

- 田中 創. 後期ローマ帝国における聖域の変容——州民と政府の関係を通じて. 浦野聡(編). 『古代地中海の聖域と社会』. p. 448. pp. 255–295. 勉誠出版. 2017.

F. その他の業績

- 田中 創. 書評: 粟辻悠「古代ローマ帝政後期における弁護人(一)～(五・完)」(『法学論争(京都大学)』174–6, 175–2, 4, 176–1, 4). 同「ローマ帝政後期の弁護人における「年功」の意義」(『法制史研究』64). 『法制史研究』. 66. pp. 439–444. 2017.
- 田中 創. エッセイ. 「不安にさせる歴史家」. 『西洋古典叢書 月報』. 130. pp. 2–5. 京都大学

学術出版会, 2017.

G. 国際学会

- The 11th Japan-Korea-China Symposium on Ancient European History: Control and Subordination in the Ancient Mediterranean World. 古代世界研究会, 早稲田大学 (東京都新宿区), 2017.9.15–9.16. コメンテーター. Comment on Lihong SONG, 'Synagogue Mosaics in Ancient Palestine: A Chinese Ekphrasis'. 英語.

谷垣真理子 (TANIGAKI Mariko)

B. 分担執筆

- Tanigaki, M. Shih, C., He, P., TANG, L., (eds.). *From Sinology to Post-Chineseness: Intellectual History of China, Chinese People, and Chinese Civilization*. p. 219. pp. 99–108. 2017. 中国社会科学出版社.

F. その他の業績

- 谷垣真理子, 項目執筆, 華僑華人の事典編集委員会 (編) 『華僑華人の事典』, 東アジア概説 (三尾裕子と共同執筆, 第1執筆者), 香港, 南北アメリカ概説 (芹澤知広と共同執筆, 第2執筆者), マイノリティーグループの移住と定着 (曾士才と共同執筆, 第2執筆者), p. 593. pp. 254–255, pp. 274–275, pp. 350–351, pp. 468–469, 丸善出版, 2017.
- 谷垣真理子, 聞き起こし調査報告, 京都から上海金山県へ: 京都千治 (株)・安藤紀世志氏の奮闘 (「華南ビジネスの現場から」シリーズ), 『華南研究』第3号, pp. 85–100, 2017.
- 谷垣真理子, コラム, 返還後二十年の時間の中で, 『UP』539, pp. 19–24, 東京大学出版会, 2017.09.
- 谷垣真理子, コラム, World News Column 香港で今後, 選挙に立候補できず, 雨傘革命の学生リーダーに実刑, 『週刊金曜日』, 1150, p. 40, 2017.9.1.
- 谷垣真理子, コラム, 論説空間 中国大陸との宥和進むか——中国返還20年を迎えた香港の現在地, 『週刊 東京大学新聞』, 2812, p. 3, 東京大学新聞社, 2017.8.29.
- 谷垣真理子, 項目執筆, 中国文化事典編集委員会 (編集委員長 竹田晃) (編) 『中国文化事典』, 香港——中国と世界との結節点, マカオ——ポルトガリダーデの香る街, p. 776, pp. 114–115, pp. 116–117, 丸善出版, 2017.

G. 国際学会

- Taipei Workshop on the British and the Japanese Colonial Legacies in China/Chinese Studies. 国立台湾大学政治学系, 2017.11.29–30, 招待講演, Country Briefing: Japan and On-going project: Hong Kong. 英語.
- International Sinologist Workshop on Chinese Oral History in Southeast Asia. Ricardo Leung Centre for Chinese Studies. Ateneo de Manila University, Quezon City, Philippines. 2017.9.29–30, 招待講演, China Studies in Hong Kong by Chinese Scholars. 英語.

H. 国内学会

- アジア政経学会 2017 年秋季大会, 富山大学, 2017.10.21, 一般発表, 第二次世界大戦後の香港における親中国派.
- 日本現代中国学会関西部会, 京都同志社大学烏丸キャンパス志高館, 2017.6.3, 招待講演, 共通シンポジウム: 香港主権返還後の 20 年——独自性のゆくえ その 1 政治.

I. その他の研究活動

- 聞き取り調査, 香港の 1970 年代の学生運動についての聞き取り, 関品方氏 (元・Central Policy Unit メンバー), 高松, 2017.12.8–12.10.
- フィールド調査, 日本植民地期の建築物見学, 台北, 2017.11.30–12.1.
- 編集, 『華僑華人の事典』, 華僑華人の事典編集委員会に参加, 丸善出版, 2017.
- 国際会議, 世界華人研究学会 (日本華僑華人学会研究大会), 長崎長崎大学, 2017.11.18.
- 資料調査, 行政院大陸委員会図書館など, 台北, 2017. 9.27–9.28, 9.30–10.1.
- フィールド調査, 香港大学 St. John's College, 1987 年在寮生リユニオン参与観察, 2017. 9.15–9.17.
- 聞き取り調査, 友好商社について聞き取り, 戸島和人氏 (互惠交易株式会社), 東京, 2017.8.24.
- 国際会議, One Asia Convention 2017, 名古屋, 2017.8.4–8.5.
- 聞き取り調査, 友好商社について聞き取り, 西澤なほり氏 (元五同産業), 名古屋, 2017.8.4.
- 聞き取り調査, 香港の 1970 年代の学生運動についての聞き取り, 馮以法氏 (香港大学明原堂舎監/香港中文大学講師), 中国香港特別行政区, 2017.6.28.
- 国際会議, フィリピン華僑華人研究の現在, Ricardo Leung Centre for Chinese Studies, Ateneo de Manila University, Quezon City, Philippines, 2017.1.11–1.13.

田原史起 (TAHARA Fumiki)

F. その他の業績

- 田原史起, 書評, 丸田孝志 『革命の儀礼——中国共産党根拠地の政治動員と民俗』, 『社会経済史学』 **83.1**, pp. 149–151, 2017.
- 田原史起, 書評, 小林一穂・秦慶武・高暁梅・何淑珍・徳川直人・徐光平 『中国農村の集住化——山東省平陰県における新型農村社区の事例研究』, 『村落社会研究ジャーナル』 **24.1**, pp. 55–56, 2017.

H. 国内学界

- 第 65 回村落社会研究学会大会, 日本村落社会学会, 静岡県浜松市天竜区春野町, 2017.11.11, 一般発表, 協力と非協力のあいだ——中国西北農村のガバナンスにみる「共同性」の変容.

土屋和代 (TSUCHIYA Kazuyo)

B. 分担執筆

- 土屋和代, 〈廃品〉からの創造——S・ロディアのワッツ・タワーとブラック・ロスアンジェル

ス、熊谷謙介（編）。『破壊のあとの都市空間——ポスト・カタストロフィーの記憶』。p. 366. pp. 287–317. 青弓社。2017.

F. その他業績

- Tsuchiya, Kazuyo. Book Review: *From the War on Poverty to the War on Crime: The Making of Mass Incarceration in America*. By Elizabeth Hinton. *Journal of American History*. 104, No. 2. pp. 569–570. Organization of American Historians. September, 2017.

G. 国際学会

- CPAS 創設 50 周年記念シンポジウム。東京大学アメリカ太平洋地域研究センター。東京大学駒場キャンパス。2017. 11.12. 一般発表。コメント。

H. 国内学会

- The JAAS Tokyo Proseminar (アメリカ学会東京プロセミナー)。アメリカ学会。津田塾大学。2017.6.8. 一般発表。司会。
- 日本西洋史学会第 67 回大会。日本西洋史学会。一橋大学。生存権を問う——公民権運動と福祉権運動 (小シンポジウム 3 「黒人女性の視点から再評価する公民権運動——人種、ジェンダー、階層、宗教による差別解消と正義を求める運動との有機的関連」)。2017.5.21. 一般発表。
- アメリカ学会第 51 回年次大会。アメリカ学会。早稲田大学。誰のための「福祉」か——ニクソン政権下の「家族支援計画」と人種、階級、ジェンダー (部会 B 「アメリカ型福祉国家再考」)。2017.6.24. 一般発表。

筒井賢治 (TSUTSUI Kenji)

D. 一般学術論文

- 筒井賢治。「マルキオン聖書再考——異端反駁文書に書かれないこと」。『福音と世界』。2017 年 3 月号。pp. 18–23. 新教出版社。(再録: 新教出版社編集部編。『宗教改革と現代』。新教コイノニア。34. p. 323. pp. 237–243. 新教出版社。2017 年。

F. その他の業績

- 岩波書店。広辞苑第七版。2018 年 1 月 (予定)。ギリシア・ローマ神話等関連項目の校閲・追加執筆等。

鶴見太郎 (TSURUMI Taro)

B. 分担執筆

- 鶴見太郎。ナショナリズムの国際化——ロシア帝国崩壊とシオニズムの転換。赤尾光春・向井直己編『ユダヤ人と自治——中東欧・ロシアにおけるディアスポラ共同体の興亡』pp. 163–185. 岩波書店。2017.

D. 一般学術論文

- 鶴見太郎。極右政党「イスラエル我らの家」の背景。『ユダヤ・イスラエル研究』。31 (印刷中)。

2017.

G. 国際学会

- Slavic-Eurasian Research Center 2017 Winter International Symposium “The Russian Revolution in the Long Twentieth Century.” 北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター，2017.12.7. 英語. 第1セッション司会.

H. 国内学会

- 相補的ハイブリッド性——ロシア・ユダヤ人と自己を引き立てる他者. 日本社会学会大会. 東京大学本郷キャンパス. 2017.11.4. 一般発表.
- イスラエル・リアリズムの起源——ロシアからの視座. 日本ユダヤ学会関西例会. 同志社女子大学今出川キャンパス. 2017.12.2. 一般発表.

I. その他の研究活動

- 第61回ロシア史研究会年次大会開催校責任者兼研究会事務局長 2017.10.14-15.
- 第61回ロシア史研究会年次大会共通論題「ロシア革命とディアスポラ」. 組織者・司会者.

外村 大 (TONOMURA Masaru)

B. 分担執筆

- 外村 大. 일본제국기의 외국·외지인 노동력 동원과 그 영향 (日本帝国期の外国・外地人労働力動員とその影響). 윤해동 (尹海東) (編). 『트렌스내셔널 노동이주와 한국 (トランスナショナル労働移住と韓国)』. p. 256. pp. 82-116. 소명출판 (ソミョン出版). 2017.
- 外村 大. 慰安婦をめぐる歴史研究を深めるために. 浅野豊美, 小倉紀蔵, 西成彦 (編). 『対話のために——「帝国の慰安婦」という問いをひらく』. p. 332. pp. 49-58. クレイン. 2017.

F. その他の業績

- 外村 大. 対談. 菊池英昭×外村 大 菊池英昭編著『旧日本軍朝鮮半島出身軍人・軍属死者名簿』(新幹社)をめぐって. 図書新聞. 3325. p. 4. 2017.

G. 国際学会

- 東アジア平和の声・第3回シンポジウム: 慰安婦をめぐる再現の政治学. NPO 法人東アジア平和の声. 出版会館 (大韓民国ソウル特別市). 2017.7.1. 招待講演. 慰安婦はどのように集められたか——私的勧誘・職業紹介・強制動員の関係をめぐって——. 日本語.

I. その他の研究活動

- 2017年8月18日から9月2日まで, カザフ国立大学東洋学部極東学科の招聘を受けて, カザフスタン・アルマティ市を訪れた. 同大学極東学科長であるイェム・ナタリア教授らの案内で, カザフスタン高麗人協会, カザフスタン国立高麗劇場をはじめとするカザフスタン在住朝鮮人の関連施設を訪れ, 関係者のインタビューを行った. また, 同大学極東学科教員に対して日本近現代史の研究動向等を紹介するとともに, 今後の研究交流について意見を交換した.

中尾まさみ (NAKAO Masami)

A. 著書

- 中尾まさみ, 『英語圏の現代詩を読む——語学力と思考力を鍛える 12 講』, p. 204. 東京大学出版会, 2017.

B. 分担執筆

- 中尾まさみ, シェイマス・ヒーニー: 骨に書かれた文様——ヴァイキング都市ダブリンと詩人の転機, 木村正俊 (編著), 『文学都市ダブリン——ゆかりの文学者たち』, p. 436+xxii, pp. 317–344. 春風社, 2017.

F. その他の業績

- Nakao, M. Book Review: Naoyuki Date, Mariko Hori, Toru Sato, and Naomi Tonooka, *War / Poetic Imagination / Ethics: Ireland's civil war, nuclear war, the Northern Ireland conflict, the Iraq War*. *Journal of Irish Studies*. Vol. **32**. pp. 64–66. 2017.

G. 国際学会

- The 34th International Conference of IASIL Japan, 国際アイルランド文学協会日本支部 (IASIL Japan), 近畿大学, 2017.10.15. シンポジウム, Contemporary Irish Poetry and Japan, 英語, 企画・組織・司会.

H. 国内学会

- 日本イエイツ協会第53回大会, 日本イエイツ協会, 中央大学, 2017.11.19. 一般発表 'neither here nor there' —— *The Spirit Level* における平衡と運動性.

長沢栄治 (NAGASAWA Eiji)

A. 著書

- 長沢栄治, 『イスラーム・ジェンダー学の構築に向けて』, 編著, 日本学術振興会科学研究費基盤緩急 (A) イスラーム・ジェンダー学の構築のための基礎的総合的研究 (IG 科研), 2017.3, p. 189.

B. 分担執筆

- Nagasawa, E. "Communist Movement in the Era of Arab Nationalist Revolutions: The Martyrdom of an Arab Communist, Farajullah El Helou," in Yoshiko Kurita ed., *Collected Essays on the Role of Marxism in the Arab World and the Other Related Essays* (日本学術振興会科学研究費基盤研究 (B) 「アラブ・イスラーム世界におけるマルクス主義の展開——運動・展開・歴史像をめぐって」 報告書), 2017.3, pp. 49–69.

F. その他の業績

- 「中東と日本の平和主義を考える——ラフィーク・シャーミーの作品を手がかりにして——」 『詩人会議』 2017.3, Vol. **55–3**, pp. 67–75.

G. 国際学会

- 国際シンポジウム「不安定な中東と再建・再生への道」(Unstable Middle East and the Way to Reconstruction and Rebirth), JETRO アジア経済研究所, 東京都渋谷区, 国連大学ウ・タント国際会議場, 2017.12.19, 一般発表, 中東の「国のかたち」を作る三つの力とその行方 (Three Actors in State Reconstruction in the Middle East after the Arab Revolution (2011)), 日本語・英語,

西川杉子 (NISHIKAWA Sugiko)

B. 分担執筆

- Nishikawa, S. Ending a Religious Cold War: Confessional Trans-State Networks and the Peace of Utrecht. Schmidt-Voges, I., Crespo Solana, A. (eds.). *New Worlds? Transformations in the Culture of International Relations Around the Peace of Utrecht*. p. 242. pp. 113–127. Routledge. 2017. ISBN: 9781472463906.
- Nishikawa, S. ‘When in Rome...’: Religious practice by Anglicans on the Continent in the 17th and early 18th centuries. Fukasawa, K., Kaplan, B. J., Beaurepaire, P-Y. (eds.) *Religious Interactions in Europe and the Mediterranean World: Coexistence and Dialogue from the 12th to the 20th Centuries*. p. 356. pp. 91–103. Routledge. 2017. ISBN: 9781138743205.
- 西川杉子. よい子のヘンリとその兄弟たち——18世紀ロンドン銀行家一族の子弟教育, 川分圭子・玉木俊明 (共編). 『商業と異文化の接触——中世後期から近代におけるヨーロッパ国際商業の生成と展開』, p. 897. pp. 219–244. 吉田書店, 2017. ISBN: 4905497558.
- 西川杉子. 理性の時代の宗教改革. 新教出版社編. 『宗教改革と現代——改革者たちの500年とこれから 新教コイノーニア 34』, p. 324. pp. 291–298. 2017.
- Nishikawa, S. English Relief Activities for Continental Protestants in the Eighteenth Century: Perpetuating religious networks in the age of reason. Larminie, V., (ed.). *Huguenot Networks, 1550–1750: The Impact of a Minority in Protestant Europe*. p. 248. pp. 203–211. Routledge. 2017. ISBN: 1138636061.

D. 一般学術論文

- 西川杉子. 理性の時代の宗教改革. 『福音と世界』, **72.6**. pp. 40–45. 2017.

F. その他の業績

- 西川杉子. 宗教改革から500年. 『東京新聞』, 『中日新聞』, 2017.01.
- 西川杉子. 本の棚: 書評・遠藤泰生編 『近代アメリカの公共圏と市民デモクラシーの政治文化史』, 『教養学部報』, **596**. 2017.12.

H. 国内学会

- 2017年度三田史学会大会総合部会シンポジウム, 「ヨーロッパ宗教改革研究の今日的意義——500周年に寄せて——, 慶応義塾大学, 2017.06.24. 招待講演. ルターを引き継いで——17・18世紀プロテスタントたちの連帯運動, 日本語.

西崎文子 (NISHIZAKI Fumiko)

B. 分担執筆

- 西崎文子, 第 1,7 章, 佐々木卓也編, 『戦後アメリカ外交史 第 3 版』, p. 404, pp. 31-72, 279-324, 有斐閣, 2017.

D. 一般学術論文

- 西崎文子, 「オバマ大統領広島訪問の歴史的意味」, 『歴史学研究』, **953**, pp. 43-50, 2017.1.
- Nishizaki, F. “Practicing American Studies in an ‘Age of Fracture’: In Search of a Context.” *Nanzan Review of American Studies*, **38**, pp. 49-58, 2016.12.

F. その他の業績

- 西崎文子, エッセイ, 「トランプのアメリカ」, 『教養学部報』, **595**, 2017.10.2.
- 西崎文子, エッセイ, 「『民族自決の夢』を問い直せ」, 広井良典・大井浩一編, 『2100 年へのパラダイム・シフト』, 作品社, pp. 65-67, 2017.3.
- 西崎文子, 対談, 〈フォーラム〉浅井基文・西崎文子・三浦一夫 「トランプ米新政権と揺れる世界」, 『季論 21』, **37**, 2017 年夏.
- 西崎文子, 対談, 「現実政治としてのポピュリズムと民主主義のゆくえ」, 水島治郎・杉田敦・小川有美・西崎文子, 『生活経済政策』, **244**, pp. 3-17, 2017.5.
- 西崎文子, 解説, 「ケナンの語る冷戦史」, 『ジョージ・ケナン回顧録 III』, pp. 548-564, 中央公論社, 2017.2.
- 西崎文子, 新聞記事, 「ひもとく 首相の真珠湾訪問」, 『朝日新聞』, 2017.1.15.

H. 国内学会

- 2017 年研究大会, 一般財団法人日本国際政治学会年次大会, 神戸国際会議場, 2017.10.28, 共通論題「デモクラシーと世界秩序」, パネリスト.
- 東京大学アメリカ太平洋地域研究センター創立 50 周年記念シンポジウム, 「アメリカは今—歴史から政治へ」, 東京大学駒場キャンパス, 2017.11.12, 組織・司会.

I. その他の研究活動

- シンポジウム「トランプの時代を考える——排外主義とどう戦うか」, 公益財団法人世界人権問題研究センター, 京都府立総合社会福祉会館ハートピア京都, 2017.6.28, 招待, 基調講演.
- 成蹊大学法学会講演会, 成蹊大学, 2017.6.21, 招待, 「歴史の中のアメリカ外交——『トランプ外交』の意味を考える」.
- 多摩大学寺島実郎監修リレー講座, 多摩大学, 多摩大学多摩キャンパス, 2017.4.27, 招待, 「歴史から読むアメリカの『今』」.
- 日本学術会議第一部会員 (第 23-24 期).

橋川健竜 (HASHIKAWA Kenryu)

E. 翻訳

- 橋川健竜訳, ジョイス・E・チャプリン, 「奴隷制の時代における天分の問題」, 遠藤泰生編, 『近代アメリカの公共圏と市民——デモクラシーの政治文化史』, pp. 145–169, 東京大学出版会, 2017.
- 橋川健竜訳, デイヴィッド・ジャフィー, 「都市をまなざす——ブロードウェイと一九世紀ニューヨークにおける視覚の文化」, 遠藤泰生編, 『近代アメリカの公共圏と市民——デモクラシーの政治文化史』, pp. 309–342, 東京大学出版会, 2017.

F. その他の業績

- 橋川健竜, 書評, 「世界像」検討のおもしろさ——『「世界史」の世界史』論評, 『世界史研究所ニューズレター』, 30, pp. 6–10, NPO-IF 世界史研究所, 2017.

長谷川まゆ帆 (HASEGAWA Mayuho)

B. 分担執筆

- 長谷川まゆ帆, 女と男と子どもの近代——啓蒙期フランスの変化から見る, 東京, 大学教養学部編, 『知のフィールドガイド——分断された時代を生きる』, p. 291, pp. 202–215, 白水社, 2017.

H. 国内学会

- 長谷川まゆ帆, 第 67 回日本西洋史学会小シンポジウム「エゴ・ドキュメントの比較史」, 東京, 一橋大学, 2017.5.21, 一般発表, 「近世フランス史から: グラフィニ夫人とその書簡体小説について」.

羽田 正 (HANEDA Masashi)

A. 著書

- 羽田 正, 『東インド会社とアジアの海』(学術文庫版) p. 411, 講談社, 2017.

B. 分担執筆

- 羽田 正, 「グローバル・ヒストリーの豊かな可能性」, 羽田 正(編), 『グローバル・ヒストリーの可能性』, p. 331, pp. 1–12, 山川出版社, 2017.
- 羽田 正, 「日本におけるグローバル・ヒストリーと世界史」, 羽田 正(編), 『グローバル・ヒストリーの可能性』 p. 331, pp. 80–104, 山川出版社, 2017.

C. レフェリー付き学術論文

- Haneda, M. “A New Global History and Regional Histories”. (ed.) Benjamin A. Elman & Chao-Hui Jenny-Liu. *The ‘Global’ and the ‘Local’ in Early Modern and Modern East Asia*. p. 258 pp. 52–65. Brill. 2017.
- HANEDA, M. “Le Japon et la mer”, (eds.) Christian Buchet. Gérard Le Bouëdec. *La mer dans l’histoire. La période moderne*. p. 1072 pp. 564–579. Boydell. 2017.

G. 国際学会

- “Towards a New World History”. 南京大学, 招待講演, 2017.5.25.
 - “A New World History and the Positionality of Historians”. 南京大学, 2017.5.26, 招待講演.
 - “Viewpoints of Japanese National History in Global Context”. ベルリン・フンボルト大学, 2017.09.07, 講演.
 - 「新しい世界史へ」, 東華大学, 2017.12.26, 招待講演.
- J. 受賞
- 紫綬褒章, 2017.

原 和之 (HARA Kazuyuki)

B. 分担執筆

- 原 和之, ラカン, ジャック＝マリ・エミール, 加賀野井秀一・伊藤泰雄・本郷均・加國尚志 (監修), 『メルロ＝ポンティ哲学者事典 別巻: 現代の哲学・年表・総索引』, p. 564, pp. 104–125, 白水社, 2017.

D. 一般学術論文

- 原 和之, 「アンテ・アンチ・オイディプス」あるいはもう一つの「オイディプス」——ラカンの「欲望の弁証法」とドゥルーズの「動的発生」, 『I.R.S.——ジャック・ラカン研究』, 第15号, 日本ラカン協会, 2017.

F. その他の業績

- 原 和之, ユング, カール・グスタフ, 加賀野井秀一・伊藤泰雄・本郷均・加國尚志 (監修), 『メルロ＝ポンティ哲学者事典 別巻: 現代の哲学・年表・総索引』, p. 564, pp. 47–49, 白水社, 2017.

G. 国際学会

- Kazuyuki HARA, “Freud’s “Uncertainty” in *Moses and Monotheism* and Its Hidden Message”. Workshop “Rereading *Moses and Monotheism* with Professor Jean-Michel Rabaté”. Seikei University, 2017.5.5. 英語, ワークショップ提題.

H. 国内学会

- 性の多様性に向き合うラカン: 「もう一つのエディプス」から出発して, 日本ラカン協会第17回大会シンポジウム: エディプス以後, 専修大学, 2017.12.17, シンポジウム提題.
- 学際的ワークショップ『精神分析の知リンクにむけて』——第二回『素人分析の問題』を巡って——, 小寺精神分析研究財団, TKP市ヶ谷カンファレンスセンター, 2017.10.1, 指定討論者.
- 日本ラカン協会研究会第4回, 佐藤朋子 「他所からの記憶——フロイト以後の『オイディプス王』読解, あるいは応用精神分析の可能性」, 東京大学駒場キャンパス, 2017.4.21, 組織・司会.
- 日本ラカン協会研究会第5回, 『ラカン 真理のパトス: 1960年代フランス思想と精神分析』合評会, 東京大学駒場キャンパス, 2017.6.23, 組織・司会.

深澤晴奈 (FUKASAWA Haruna)

H. 国内学会

- 日本文化人類学会第51回大会, 日本文化人類学会, 神戸大学, 2017.5.28, 一般発表, 移民受け入れ国となったスペインにおける政策決定軸と地域主義～カタルーニャ自治州の社会統合政策から見えてくること (分科会, スペイン／カタルーニャの民族誌試論——ネオリベラリズムという視点から).
- カルチュラル・タイフーン 2017, カルチュラルスタディーズ学会, 早稲田大学, 2017.6.24, 一般発表, スペインの地域主義と移民——グレーバー『負債論』における〈コミュニズム〉的視点から (分科会, スペインの〈コミュニズム〉——『負債論』の民族誌的検討).

ホーンズ, シーラ (HONES Sheila)

B. 分担執筆

- “Literary Space-time: Sound and Rhythm,” *The Routledge Handbook of Literature and Space*. Routledge, pp. 106–113. 2017.

G. 国際学会

- “Literary Geographies: comments on the workshop,” International Conference on Literary Geographies, Emmanuel College, Cambridge. March 20 2017.

増田一夫 (MASUDA Kazuo)

B. 分担執筆

- 増田一夫, 分担執筆, 喪のポリテイクス——デリダ, 「私は死で動いている」の射程, 岩野卓司編, 『共にあることの哲学と現実』, p. 320, pp. 277–317, 書肆心水, 2017.
- 増田一夫, 分担執筆, 移民, 人権, 国境を考える——ヨーロッパからの視点, 東京大学教養学部編, 『分断された時代を生きる (知のフィールドガイド)』, p. 270, pp. 257–267, 白水社, 2017.

D. 一般学術論文

- 増田一夫, 逆風のなかの「移民」——フランスにおける排除と敵対の言説, ODYSSEUS, 東京大学大学院総合文化研究科・地域文化研究専攻紀要, 第21号, pp. 79–103, 2016 (2017.3.31 発行).

F. その他の業績

- 増田一夫, 時評, マクロン大統領とフランス社会の内なる外部, 『教養学部報』, 第595号, 2017.10.02.
- 増田一夫, エッセイ, 俳優の素顔に関するパラドクス——石井洋二郎先生を送る, ODYSSEUS, 東京大学大学院総合文化研究科・地域文化研究専攻紀要, 第21号, pp. 135–137, 2016, (2017.3.31 発行)

G. 国際学会

- エルヴェ・ル・ブラーズ (Hervé Le Bras, フランス国立社会科学高等研究院) 講演会, La chute

des partis politiques français et l'ascension du président Macron. (フランス伝統諸政党の凋落とマクロン大統領の就任). 科学研究費補助金基盤(B)トランスナショナルな紐帯を保持する移民のホスト社会への編入. 東京大学教養学部. 2016.06.23. 組織・司会. 通訳. フランス語.

H. 国内学会

- シンポジウム. デリダと死刑を考える. 慶應義塾大学学事振興資金事業. 慶應義塾大学. 2017.10.07. 招待講演. 死の脱構築——有限性の終焉としての死刑.

黛 秋津 (MAYUZUMI Akitsu)

B. 分担執筆

- 黛 秋津. 黒海国際関係の歴史的展開——20世紀初頭まで. 六鹿茂夫編『黒海地域の国際関係』 p. 422. pp. 26–55. 名古屋大学出版会. 2017.

D. 一般学術論文

- 黛 秋津. オスマン帝国のクリミア支配とロシアの進出によるその変容——黒海地域史の観点から. 『大学研究助成アジア歴史研究報告書 2016 年度』. pp. 55–66. JFE21 世紀財団. 2017.

G. 国際学会

- 5th Global International Studies Conference. National Taiwan University (國立臺灣大學). (Taipei). World International Studies Committee. 2017.4.1–3. 一般発表. Vassal States and the Concept of “Suzerainty” in the Ottoman Empire. 英語.
- 7th International Balkan Annual Conference. “The Role of Diplomacy in the History of the Balkans”. Istanbul University. The University of Prishtina (Prishtina). 2017.11.9–11. 一般発表. The Question of Opening French Consulates in the Danubian Principalities. 英語.

村田雄二郎 (MURATA Yujiro)

B. 分担執筆

- 村田雄二郎. 孫文以後の大アジア主義——民国期中国における日本認識をめぐって. 日本孫文研究会 (編). 『孫文とアジア太平洋——ネイションを越えて』. 汲古書院. p. 397. pp. 27–52. 2017.
- 村田雄二郎. 康有為『大同書』から見る中国の民族問題 (韓国語). 宮嶋博史・裴宥燮 (編). 『東アジアから世界を見れば』. ソウル: ノモブックス. p. 495. pp. 370–395. 2017.

F. その他の業績

- 村田雄二郎 (監修). 青山治世・関智英 (編). 『「順天時報」社論・論説目録』. 公益財団法人東洋文庫. p. 382. 2017.
- 村田雄二郎. チャイニーズネス——中国人の一体感. 竹田晃ほか (編). 『中国文化事典』. 丸善出版. p. 784. 2017.
- 村田雄二郎 (司会). 文化大革命という亡霊 (中国社会文化学会主催 2016 年度大会シンポジウム

第二部), 『中国——社会と文化』, 32号, 中国社会文化学会, pp. 46–85, 2017.

- MURATA Yujiro. A Commentary on ‘The Realms of Yin and Yang.’ in Wu Chongqing (呉重慶), *The Path to Sun Village: Gods, Ghosts, and People in a Post-Revolutionary Society*. Leiden/Boston: Brill, pp. 79–83, 2017.

G. 国際学会

- 「近現代東亜国際社会与世界」青年学者シンポジウム, 国立政治大学歴史学系・東京大学大学院総合文化研究科共催, 2017.11.20, 東京大学駒場キャンパス, 司会と総括, 中国語,
- 第6回中国当代史研究ワークショップ, 2017.12.2–3, 華東師範大学当代史研究センター, コメンテーター, 中国語,
- 国際シンポジウム「転型与流变: 従晩清到五四」, 2017.12.7–8, 中央研究院近代史研究所, 民国政府与優待条件, 報告, 中国語,

I. その他の研究活動

- 後孫中山時期亞洲主義在中国, 中央研究院近代史研究所, 2017.12.12, 講演, 中国語,

村松真理子 (MURAMATSU Mariko)

B. 分担執筆

- 『初歩のイタリア語 ('17)』, 放送大学教育振興会, 2017, p. 190, 2013, (ルドヴィーコ・チフェッリと共著),

C. レフェリー付き学術論文

- Mariko M. *L'amore dannunziano nella letteratura giapp onese da Ikuta Chōkō a Misihima Yukio*, in *Riflessioni sul Giappone antico e moderno*, a cura di M. C. Migliore, A. Manieri, S. Romagnoli. Aracne Editrice, Roma, 2017, pp. 233–254.

E. 翻訳

- 村松真理子訳, トンマーゾ・カンパネッラ, 「事物の感覚と魔術について」, 池上俊一 (共訳), 池上俊一 (監修), 『原典ルネサンス自然学』(上), 2017, pp. 579–638.

F. その他の業績

- 放送大学「初歩のイタリア語 ('17)」, 主任講師として台本作成・撮影企画・出演等,
- 「ガブリエーレ・ダンヌンツィオ」, 項目執筆, 小森陽一 (監修), 『漱石辞典』, 翰林書房, 2017,

G. 国際学会

- 2017年レオバルディ研究国際学会 *Convegno Internazionale di Studi Leopardiani 2017* 「20世紀文化におけるレオバルディー方法と文体としての系譜」 “Leopardi nella cultura del Novecento. Modi e forme di una presenza”. イタリア・レカナーティ市, 国立レオバルディ研究所 *Centro Nazionale di Studi Leopardiani*, 2017.09.28–30, 招待発表, 「レオバルディの翻訳の問題と距離について」 “Tradurre Leopardi da lontano”. イタリア語,

森井裕一 (MORII Yuichi)

F. その他業績

- 解説, 「ドイツ連邦議会選挙の結果とメルケル政権の今後」, 『経団連タイムズ』, 2017.11.02.
- 解説, 「ネオナチの発言連発の「ドイツ・右翼政党」大躍進が意味すること」, 『現代ビジネス』, 2017.10.04. (<http://gendai.ismedia.jp/articles/-/53055>).
- 解説, 「メルケル 4 選後のドイツ外交を展望する」, 時事通信社 Janet 『e-World』, 2017.9.22.
- 解説, 「経済教室労働市場改革の意義 (中) ドイツ経済復活の礎築く——規制緩和・高福祉は正軸に」, 『日本経済新聞』, p. 29. 2017.9.1.
- 解説, 「まもなく「ドイツ総選挙」なぜ, かの国の政権はこんなにも長続きなのか——メルケル 4 選のその先を考える」, 『現代ビジネス』, 2017.08.25. (<http://gendai.ismedia.jp/articles/-/52675>).
- 書評, ヤンヴェルナー・ミュラー著 『ポピュリズムとは何か』, 『日本経済新聞』 朝刊, p. 27. 2017.6.17.
- 解説, 「ハンブルク G20 サミットは失敗だったのか」, 『Newsweek 日本版』, 2017.7.26. (<http://www.newsweekjapan.jp/morii/2017/07/g20.php>).
- 解説, 「揺れる米独関係」, 『Newsweek 日本版』, 2017.6.02. (<http://www.newsweekjapan.jp/morii/2017/06/post-2.php>).
- 解説, 「イギリス離脱交渉の開始と EU の結束」, 『Newsweek 日本版』, 2017.5.8. (<http://www.newsweekjapan.jp/morii/2017/05/eu.php>).
- 解説, 「地方選挙から見るドイツ政治: ザールラント州議会選挙の結果」, 『Newsweek 日本版』, 2017.3.29. (<http://www.newsweekjapan.jp/morii/2017/03/post.php>).
- 解説, 「シュルツ SPD 首相候補の登場はドイツを変えるか?」, 『Newsweek 日本版』, 2017.2.27. (<http://www.newsweekjapan.jp/morii/2017/02/-2017.php>).
- 解説, 「EU の危機とドイツ」, 『學士會会報』, 922 号, pp. 27-31, 2017.1.1.

G. 国際学会

- “Germany’s Changing Perception and its Role in the Alliance-The NATO Warsaw Summit and its Implications”. International Conference: Intra-Alliance Diplomacy and the 2016 NATO Warsaw Summit: The Goals and Tactics of European Allies. The Changing Character of War Centre & The Sasakawa Peace Foundation, Pembroke College. 2017.12.12. 発表.

H. 国内学会

- 「ベルリンから見るヨーロッパの複合危機」, 東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻シンポジウム『地域から見える世界』, 東京大学駒場キャンパス, 2017.6.24. 発表.
- 「不安定化する世界とドイツ連邦議会選挙」, 経団連 21 世紀政策研究所「2017 年の国際情勢を展望する」, 経団連ホール, 2017.3.21. 発表.
- 「ドイツにおける財政規律と欧州化: 歴史, 連邦制度改革, 欧州化」, 財政規律規範の形成と政策移転・欧州化比較研究会 (科研基盤 (C) 代表森井裕一), スラブ・ユーラシア研究センター小

会議室, 2017.1.28. 発表.

森山 工 (MORIYAMA Takumi)

B. 分担執筆

- 森山 工, 「アフリカにおける〈伝統〉の創造と変容——マダガスカルの改葬儀礼から考える」, 遠藤貢・関谷雄一(編), 『社会人のための現代アフリカ講義』, 東京大学出版会, 2017.9, pp. 135–162.

F. その他の業績

- 森山 工, 「慈父にして厳父, あるいは「蝙蝠のボレミック」——代田智明先生を送る」, 『ODYSSEUS 東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻紀要』第 21 号, 2017.3, pp. 159–161.

I. その他の研究活動

- 「大学で学ぶということ——リベラルアーツと知の相対化について」, 鹿児島県立鶴丸高等学校進路講演会, 鹿児島県立鶴丸高等学校, 講演, 2017.3.14.
- 説明会「教養学部概要説明」, 高校生のための東京大学オープンキャンパス 2017, 東京大学安田講堂, 2017.8.3.
- 「島国マダガスカルの生活文化」, 鎌倉淡青会三金会, 茶寮いの上, 2017.9.15. 講演.

矢口祐人 (YAGUCHI Yujin)

D. 一般学術論文

- 矢口祐人, 米大統領選から見える深い溝～アメリカを分断する白人貧困層の怒りと悲しみ, 『Journalism』, 32562–69, 朝日新聞社, 2017.6.

F. その他の業績

- 矢口祐人, 項目執筆, 反論は愛国的～トランプ政権誕生後のアメリカ, 『月刊グローバル経営』, 409, pp. 4–5, 2017.6.
- 矢口祐人, 項目執筆, フラに伝統に再び灯をともした王 デビッド・カラカウア, 『文』, 114, pp. 11–13, 2017.7.
- 矢口祐人, 解説, ハワイアン・キルトとハワイの歴史, 『ハワイアンキルト展』, 茅ヶ崎市美術館, pp. 8–9, 2017.9.
- 矢口祐人, 項目執筆, 太平洋から考えるアメリカ合衆国, 『地理月報』, 550, pp. 2–3, 2017.10.

安岡治子 (YASUOKA Haruko)

B. 分担執筆

- 安岡治子, 「井上洋治神父と東西キリスト教の出会い」, 山根道公(編), 『井上洋治著作選集・7』, p. 264, pp. 243–247, 日本キリスト教団出版局, 2017.

F. その他の業績

- 安岡治子, 「ロシア文学からの贈り物 プラトーフ 『牝牛』」, 『NHK テキスト まいにちロシア語 1』, p. 137, pp. 81–127, NHK 出版, 2017.12.
- 安岡治子, 「ロシア文学からの贈り物 ブルガーコフ 『巨匠とマルガリータ』」, 『NHK テキスト まいにちロシア語 12』, p. 143, pp. 79–117, NHK 出版, 2017.11.
- 安岡治子, 「ロシア文学からの贈り物 チューホフ 『ふさぎの虫』」, 『NHK テキスト まいにちロシア語 11』, p. 140, pp. 77–115, NHK 出版, 2017.10.
- 安岡治子, 「ロシア文学からの贈り物 ドストエフスキー 『カラマゾフの兄弟』」, 『NHK テキスト まいにちロシア語 10』, p. 137, pp. 77–112, NHK 出版, 2017.10.

I. その他の研究活動

- ラジオ講義, 「まいにちロシア語応用編 ロシア文学からの贈り物」, 2017.12.29, 12.28, 12.22, 12.21, 12.15, 12.14, 12.8, 12.7, 12.1, 11.30, 11.24, 11.23, 11.17, 11.16, 11.10, 11.9, 11.3, 11.2, 10.27, 10.26, 10.20, 10.19, 10.13, 10.12, 10.6, 10.5, NHK ラジオ第2放送, 放送出演.

山口輝臣 (YAMAGUCHI Teruomi)

B. 分担執筆

- 山口輝臣, 「宮中祭祀と平成流」, 吉田裕・瀬畑源・河西秀哉 (編), 『平成の天皇制とは何か——制度と個人のはざままで』, p. 265, pp. 135–158, 岩波書店, 2017.7.27.
- 山口輝臣, 「福岡高等学校の教育と教師」「学而寮と学校生活」「福岡高等学校の学生運動」, 九州大学百年史編集委員会, 『九州大学百年史第1巻: 通史編 I』, p. 816, pp. 455–490, 九州大学, 2017.3.31, (<http://catalog.lib.kyushu-u.ac.jp/recordID/1801084>).

F. その他の業績

- 山口輝臣, 「はがき通信」, 『日本歴史』, p. 827, p. 128, 2017.4.1.

G. 国際学会

- 東アジア文化交渉学会第9回大会, 東アジア文化交渉学会, 北京外国語大学 (中華人民共和国北京市), 2017.5.14, 一般発表, 「実業家と宗教——洪沢栄一を中心として」, 日本語.

H. 国内学会

- 第154回日文研レクチャー, 国際日本文化研究センター, 2017.12.23, 招待講演, 「「国家神道」: どこから来たのか? どこへ行くのか?」.
- 第4回宗教とナショナリズム研究会, 日本学術振興会平成27年度科学研究費助成事業 (基盤研究 (C)) 「国家神道と国体論に関する学際的研究——宗教とナショナリズムをめぐる「知」の再検討——」, 国学院大学, 2017.12.16, 招待講演, 「シンポジウム「戦後史のなかの『国家神道』」から見えてきたもの」.
- 史学会第115回大会日本史部会近現代史部会公開シンポジウム「戦後史のなかの「国家神道」」, 史学会, 東京大学, 2017.11.13, 招待講演・コーディネーター, 「シンポジウムはなにをを考えようとしているのか」.

- 第153回日文研レクチャー。国際日本文化研究センター。2017.8.4. 招待講演・コメンテーター。「文明」と「宗教」——十九世紀日本を中心に。

ロビンス, ロジャー (ROBINS Roger)

B. 分担執筆

- Robins, R. Co-author / co-editor. 佐藤良明, 大橋理枝. 英語事始め [*A Fresh Start in Learning English*]. 235 pages. Open University of Japan. 2017.

D. 一般学術論文

- Robins, R. The Thirty Years' War. *Christian History*. 122 (May 2017). pp. 28–32. Christian History Institute. 2017.

F. その他の業績

- Robins, R. Editor: Special Issue. *Current Trajectories in Global Pentecostalism: Culture, Social Engagement, and Change*. Religions. MDPI. Projected 2018.

H. 国内学会

- Novelists and Newspapers Exhibition Lecture Series. Peter Robinson. The Komaba Museum, The University of Tokyo, Tokyo, Japan. June 17, 2017. Invited. *Literary Evangelicalism in the Late Nineteenth Century: From Romanticism to Sentimentality*. English.

I. その他の研究活動

- Teaching and Living in Japan. Fulbright Japan / Matthew Sussman. Japan-United States Educational Commission Secretariat Office, Tokyo, Japan. September 13, 2017. Invited. *Teaching and Living in Japan as a Fulbright Lecturer or Researcher*. English.

和田 毅 (WADA Tsuyoshi)

D. 一般学術論文

- 和田 毅. 「メキシコの市民社会の変遷: 3つのアプローチの検討」. 星野妙子 (編). 『21世紀のメキシコ: 近代化する経済, 分極化する社会』. pp. 71–93. 調査研究報告書. アジア経済研究所. 2017.

F. その他の業績

- 和田 毅. 書評論文. 「岡田勇著『資源国家と民主主義——ラテンアメリカの挑戦』名古屋大学出版会2016」. 『ラテン・アメリカ論集』. 51. pp. 55–62. ラテン・アメリカ政経学会. 2017.
- 和田 毅. 学会パネル報告. 「共催パネルII Democracia (民主主義)」. 『日本ラテンアメリカ学会会報』. No. 123. pp. 44–46. 2017.

G. 国際学会

- LASA2017 “Dialogues of Knowledge. “The XXXV International Congress of the Latin American Studies Association”. Lima. Peru. 2017.5.1. 一般発表. “Mexican Popular Contention Database (MPCD) and

beyond.” Oral Presentation in the Workshop “Recent Trends in Event Data Analysis of Latin American Politics”. 英語発表及び座長.

H. 国内学会

- 第 11 回アジア経済研究所メキシコ研究会, アジア経済研究所, 東京外国語大学本郷サテライトオフィス, 2017.12.23, 一般発表, 「メキシコ市民社会の変遷」.
- 独立行政法人日本学術振興会学術システム研究センター, 特設分野研究「紛争研究」研究者交流会, 日本学術振興会, 東京, 2017.10.02, 一般発表, 「暴力的紛争の勃発を予知するシステムを開発する国際的・学際的共同研究の進捗状況」.
- メキシコ政治学会 (Asociación Mexicana de Ciencias Políticas: AMECIP) 共催パネル「民主主義」, 日本ラテンアメリカ学会第 38 回定期大会, 東京大学駒場キャンパス, 2017.06.04, 討論者, スペイン語.
- 日本ラテンアメリカ学会全国大会, 東京大学駒場キャンパス, 2017.6.3-4, 実行委員会委員.

I. その他の研究活動

- 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究 (B) 特設分野 (紛争研究) 『暴力的紛争の勃発を予知するシステムを開発する国際的・学際的共同研究』 (研究代表者: KAKENHI 15KT0040) の計画に基づいた研究.
- 日本学術振興会科学研究費補助金挑戦的萌芽 『グローバル化する世界における民主主義の行方と社会運動の役割についての国際共同研究』 (研究代表者: KAKENHI 26590087: 2014-2017) の計画に基づいた研究.
- 東京大学スーパーグローバル大学創成支援に係る第 2 期戦略的パートナーシップ構築事業 『チリとメキシコの大学との戦略的パートナーシップの構築』プロジェクト (2017-2020 年度).